

機械（精密機械を除く）器具製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の型	労働者規模
2017	1	11～12	鉄板1にフックをつけクレーンでつり上げ、鉄板2、3を外す作業をしているとき、当日は鉄板が3枚ありフックがついた鉄板1以外は固定されてなく、クレーンでつり上げた際、2枚目の鉄板（200kgくらい）と3枚目の鉄板（200kgくらい）が動く状態で、また鉄板1の片側のみにフックを掛けクレーンで持ち上げたので、鉄材自体が不安定に揺れていて、とっさに鉄板1と2を左手でつかんで揺れを抑えようとしたところ、傾きが逆になり、鉄板3が戻ってしまったため、3に左手指を挟んだ。	36	211	7	1～9
2017	1	13～14	当社第3工場で、バッバリミキサー解体作業時、ドリルドサイド下側ボルトを緩めるために、ボルトへ交換ソケット、打撃めがねレンチをセットし、下側から上方向へ大ハンマーを打った3度目に交換ソケットが折れ交換ソケットが跳ねて、左頬に当たり被災した。	48	364	4	300～499
2017	1	10～11	工場にて作業中躓いて転倒し、左腕に体重が乗ってしまい、左腕手首のすぐ上部を骨折した。	42	417	2	1～9
2017	1	14～15	金型工場内で金型を製作中に、ノックピンを引き抜こうとスライドハンマーで引き抜き作業中に、スライドインハンマーの先端が鼻に当たり鼻骨を骨折した。	29	521	6	30～49
2017	1	16～	当社工場の資材置場において、天井クレーンを使って台車の資材の積み下ろしを行っていた際、クレーンのスイッチを入れ、ウィンチを移動させたところ、ウィンチと一体になっているスイッチのコー	21	211	4	1～9

		17	ドが棚に積まれていた母屋（角パイプ）（重量4～500kg）に引っ掛かり、母屋の束が約2m90cmの高さから滑るように落下し、床に置いてあった他の資材との間に左手を挟まれた。				
2017	1	16～17	製造現場にて、加工中に製品に入り込んで折れたドリルを、手直し作業により取り除こうと、反対側から刃物にてハンマーで叩いていたところ、その刃物が外れなくなり、外そうと万力に取り付け、強く締めつけた際に、締めつけた刃物が粉碎して飛び、その破片が左目に入ってしまった。	61	364	4	50～99
2017	1	16～17	組立場にて、弁組立部品刻印作業中、刻印用ポンチの所在を確認するために洗浄室前通路を横切り、パレットに右足をのせたところ、パレットに敷いてあるダンボールで滑り転倒した際に自分の体が足の上に乗り右足を骨折した。	33	379	2	50～99
2017	1	7～8	会社構内の駐車場に自家用車を停め歩いて会社事務所向かう途中、凍った路面に足を滑らせ腰部より落下し、大腿骨頸部を骨折した。	33	719	2	50～99
2017	1	10～11	織物柄出し機（ジャカード）鉄骨製（高さ3M）の所に取り付してある搬出作業の準備の為、補修点検用木製ハシゴで2M位の位置でハシゴ共に床に落下した。	66	371	1	1～9
2017	1	16～17	事業所内作業場において、研削したステンレス製品をエアーで吹いた所、保護メガネを装着するのを忘れてしまったため、ステンレス切子片が右目に入り負傷した。	20	521	4	30～49
2017	1	11～12	ポール板（機械名）で作業中、約5センチ位の製品の面取り作業中、軍手が巻き込まれ、左手人差し指を負傷し、9針縫った。	43	152	7	10～29
2017	1	11～12	当社工場内に於いて、シャッター横の引き戸から台車を後方向きに戸外へ出て通行しようとした時に、同僚がフォークリフトで作業をしているのを確認していたがフォークリフトの後方を通過できると判断し通行した。その際にフォークリフト運転手に声掛けによる注意喚起をせず、運転手もフォークリフト後部への注意を怠った	79	222	6	100～299

			為、フォークリフトと接触し転倒し、右足脛を骨折した。				
2017	1	17～ 18	加工機械部品の積降の際、腰を痛めたと思われる。	33	921	19	10～ 29
2017	1	9～ 10	同社工場内に於いて、フィルターの洗浄作業をするため作業場所に置いてあった鉄製のアングル材の支柱を数本移動する作業中、足元を見ていたつもりだったが、そばにあった他のアングル材に足をとられてしまい転倒した。その際にそのアングル材を握って前方に転倒したため、別アングル材の台座部分と握っていたアングル材とに右手環指と左手示指を挟み込み裂傷した。	55	417	2	10～ 29
2017	1	16～ 17	第1工場にて、タンク胴板用の開先加工機器の調整作業を行うために、固定ボルトを緩めようと右手に六角レンチを持って力を入れた。固定ボルトが緩んだ勢いで、六角レンチを持った右手がそのまま機器本体にぶつかって被災した。	25	364	3	—
2017	1	8～9	L型に加工した鋼製の角パイプ部品をグラインダー作業中、角パイプが転倒し、右足の内くるぶしから甲にかけて打撲した。	26	521	5	10～ 29
2017	1	13～ 14	塗装場において、クレーンで部品を釣り上げて塗装作業をしていたところ品物がクレーンからはずれ、咄嗟に右手を引っ込めたところ、何かに当たり、右手甲を裂傷した。	63	372	3	10～ 29
2017	1	10～ 11	工場内の油圧シャーで3.2tの鉄板を巾3.0mm、長さ1mに切断中、安全カバーのくぼみへ手を入れて作動した時、安全カバーの下の間隙から切断刃の方へ左手指が入り込み、シャーの刃で左人差し指・中指・薬指の先（第一関節と指先の間あたり）を切断する。安全手袋をしていた為、手が安全カバーの下に入り込んでいることに気付かず、機械を作動してしまった。	30	156	7	1～9
			本社工場1FSUS材加工エリアで、製造課架台班専任班長は、架台製作用SUSアングルL5×50×50、長さ200mmをハンドソーマシン（LT=630）で切断作業を一人で行っていた。鋸刃の降下を一定の				

2017	1	8～9	高さで止める為、鋸刃の回転を停止せず、自作ストッパーをハンドソーマシンの鋸フレームの鋸刃カバーの下に、皮手袋を装着した左手で設置しようとした所、鋸刃に左手皮手袋が巻き込まれ親指以外の指四本を切断してしまった。原因は、機械を停止せずに作業を実地したことにあり、機械には「回転中鋸刃に触れない事」の危険ラベルで注意を促し、導入時にも指導員から説明もあった。なお、皮手袋はしていた。	66	159	8	50～99
2017	1	18～19	作業場において、旋盤で作業中に回転しているチャックに左手の中指と人差し指があたってしまい、指2本を負傷した。	33	151	7	30～49
2017	1	13～14	組立作業場で、バルブ付属の駆動部部品を木片の上に載せて検査をしている際、バランスをくずして部品が落ちてしまい指をはさんだ。	61	521	4	50～99
2017	1	16～17	本社工場1階作業場で、立型マシニング作業中に製品に付帯している工程管理作業書を取りに行こうとして、立型マシニングの横を通った際に、機械横に置いている昇降用踏み台につまずき、転倒し負傷した。	64	371	2	50～99
2017	1	16～17	工場内にて当社製品部品の交換のため金網張り作業中に、上網テンション用リング（重さ約10kg）を固定しているボルトの取り外しをした際、上網テンション用リングが落下し、シリンダーBrgケースとの間に指が挟まり負傷した。	34	521	4	1～9
2017	1	15～16	本社工場内東棟機械加工場にて、汎用フライス盤を使い鋳物で出来た品物の平面加工実施中に、何らかの理由・原因により、右手にはめていた軍手もしくは袖口が回転中の刃物に巻き込まれ、その勢いで体ごとフライス盤のテーブル上まで持ち上げられ、巻き込まれてしまった。	41	152	7	10～29
2017	1	13～14	暖をとるため薪ストーブをしていたところ、ズボンに火の粉が移り、右足のふくらはぎをやケドした。	23	519	11	1～9
			当社工場中子造型場にて中子（640kg）反転作業中、中子を吊って				

2017	1	13～ 14	いるチェーンスリングが外れ中子が転倒し、左足膝辺りに中子がぶ つかり負傷した。	37	372	3	50～ 99
2017	1	14～ 15	工場内アウトリガー組立9Tにおいて、製品のアウトリガーインナー ケースをクレーンで吊り上げ時、インナーケースが不安定に動いた ため動きを止めようとして吊り上げ、治具に左手をかけたために治 具の可動部に左手小指を挟まれて負傷した。なお、当日は1人作業 であり、爪1/3ぐらいが残った状態である。	61	372	7	100 ～ 299
2017	1	9～ 10	第二工場の軸・パイプ切断場にて、フォークリフトの爪に乗せた3 本のBCパイプ（Φ200×3,000）と緩衝用のリン木の間にベルトリ ンクを通すため、爪の角度を下げたところ、パイプが落下し、バウ ンドして足に当たった。	56	521	4	50～ 99
2017	1	10～ 11	会社指示で休日出勤をして書類を作成中に、頭の中が煮詰まってきたので少し頭を冷やそうと、事務所北の非常ドアから外に出て、3 段ある階段を下りた所で休憩を少しとった。その後、事務所の中 に戻ろうと階段に左足をかけたところ踏みはずし、左側の約50cm下 にある溝に転落し負傷した。	49	413	1	—
2017	1	11～ 12	部品に穴をあける作業中、エアブローで削った鉄粉を吹き飛ばし た際、鉄の切粉が左目に入った。	75	529	4	100 ～ 299
2017	2	10～11	工場外敷地内にて、H鋼を工場内から外へ移動作業中、H鋼 （W150×L1500）47kgを2人で両端を持ち、H鋼を移動中、工場の 外が雪で路面が凍結していた。H鋼を2人で移動中に被災者が雪で 足が滑り、転倒した際に、持っていたH鋼が左膝側内腿に当たり負 傷した。	20	521	4	1～9
2017	2	17～18	掃除後、足に痛みを感じた。帰宅時、会社構内で空足を踏んだ状 態となって右ひざを痛めた。	58	417	2	10～ 29
			県道で、1.5t車ヘトラックで（荷物なし）走行中に対向車のトレー				10～

2017	2	15~16	ラーが、脇見をして、左の縁石にタイヤをぶつけてバーストして操縦不能になり、対向車線（自車の車線）に進入し正面衝突した。	39	611	4	29
2017	2	12~13	材料をフライス盤で加工後、フライス盤から材料を外し、作業台から置く途中で手を滑らせ、加工面エッジ部で負傷した。	50	521	8	1~9
2017	2	11~12	研磨室でセンターレス研削盤から品物を取り出す作業をしている時、回転している研削砥石と品物が接触した。品物を取り出そうとしていた右手が一緒に持っていかれ、右手中指と薬指を巻き込み負傷した。	22	153	7	50~99
2017	2	8~9	出社時、W2北駐車場からロッカーへの階段途中で、本人がロッカーに向かって、階段を上り始め、数段上って足をステップにかけた時に、ステップに乗せた足が滑って転倒した。その結果、顔面を階段にぶつけ、切創／折歯となった。	43	413	2	1000~9999
2017	2	8~9	当社社屋内の通路の、床に油がしみ込んで滑りやすい箇所を歩行中、清掃前だったため足を滑らせて転倒してしまった。その際、頭を打ちそうになったので、かばう為に右手を着き、負傷した。	52	417	2	30~49
2017	2	16~17	当社、工場内に於いて、使用済みのシンナーの入っていた空缶（18?）を圧縮して処分するため、電動サンダーで切り込み作業中、急に引火、爆発し、その火炎が顔面を被い火傷したものである。	67	512	14	1~9
2017	2	17~18	自社工場でH鋼（20cm×30cm×6m）をクランプチャックで挟み吊り上げた際に、クレーンの手元のボタン操作を誤り、逆へ移動させてしまったため、高さ150cm上の付近にあった棚へH鋼が上がってしまい、クランプチャックがゆるみ落下した。頭の方へ落下してきたが避けたため足が下敷きになってしまった。	32	211	4	1~9
2017	2	19~20	自社工場内にて、金属を削る機械の清掃作業が終わり、木製の踏み台（幅70cm高さ30cm1段15cm）にのって作業していたが、下りる時に段を踏み外して転落した。その時に右手をついて負傷したものである。	23	371	1	10~29

2017	2	14~15	弊社工場内で、製作部品（カバー）を製作後ソケット溶接部の漏れ検査作業中にボルト（4個）が外れ、製作部品（カバー）が飛び上がり、作業者の顔面に当たり、負傷したものである。	42	312	4	1~9
2017	2	1~2	当社にてクレーンを使い架台（重さ1t）を反転させている際、スリングベルトを掛ける位置が架台の重心でなく片寄ったところに掛けてしまい、クレーンで持ち上げたところ架台が傾き、止めようと手を出したところにスリングベルトが滑ってきて、架台とベルトの間に左手が挟まれた。	41	372	7	30~ 49
2017	2	11~12	圧入機（圧力550kg）に複数部品を重ねて組立作業中、右手でプレスボタンを押していたところ、右側のリングが落下したため咄嗟に左手で取ろうとしたため、左手中指の指先が圧入機稼働部と部品の間に挟まり負傷した。	40	159	7	100 ~ 299
2017	2	16~17	NC縦型フライス盤で当社加工工場内において金属部品材料にφ14の穴明け作業を行う時、右手で刃物を上下に移動中に左手で長さ20cmの竹のハケで刃物部分に油を掛けていた時、切りくずの金属くずが左手作業服の袖に巻き付き左手小指が刃物に接触し、左手小指を切断負傷した。	78	152	8	1~9
2017	2	8~9	フライス作業中、敷板がエンドミル（刃物）に接触しかけたので、敷板を移動させようとしたところ、左手がエンドミルに接触し、巻き込まれた。	52	152	7	30~ 49
2017	2	16~17	重合機の整備を目的として、缶内作業を行っていた。後からこの作業に合流した作業者が、缶内作業中にもかかわらず、安全対策の一つとして行っていた仕切板の入ったフランジを誤って開放してしまい、溜まり有機溶剤（メタノール、酢酸ビニルモノマー）約5?が、缶内に降り注いだ。これに被液し、薬傷を負った。	34	514	12	—
			倉庫の方から大きな音が聞こえ社員より「救急車を呼んでください」と言われ119番通報した。2階倉庫から1階への階段を下りた床				

2017	2	11~12	の上で仰向けで倒れいびきをかいた状態で発見される。足を滑らせて階段から転倒し頭部を打撲した。病院にて脳挫傷、急性硬膜下出血、外物性くも膜下出血と診断され入院した。その後脳梗塞、脳血管攣縮、急性くも膜下出血と誤嚥性肺炎を併用して発症し、その後亡くなった。	69	413	1	50～ 99
2017	2	11~12	工場内で溶接作業をしている時、半自動溶接機で自分が持っていたノズル（ワイヤー）でノズルを引っ張って寄せようとした時、膝の内側に刺してしまい負傷した。	46	339	8	1～9
2017	2	15~16	事業場内製造5課で、空調機用のドレンバン（結露水を受けるステンレス製の受け皿）に勾配をつけるため、作業員2人でプレスブレーキによる曲げ加工を行っていた際、一方の作業員（被災者）が曲げ角度を確かめようとプレスと鋳金の上に非常停止ボタンを押さずに手を入れたところ、もう一方の作業員が手が入っていることを確認せずに、また声かけなしにプレスを動かしてしまい、プレス金型と鋳金に指を挟まれ、骨折した。	54	154	7	100 ～ 299
2017	2	11~12	研修室で、会議が終わり会議内容について立って打ち合わせを行っていた。話が長くなって背面の会議中に座っていた椅子の背もたれに手を置き、座面に膝を下ろそうとしたが、あると思っていた椅子が無く、思わぬ状態に受け身も取れず、全体重が膝にかかり床に膝を強打してしまった。	62	416	3	100 ～ 299
2017	2	16~17	組立2課1係昇温浄油（ブラッシング）工程において、被災者がVi020（2tバックホー）を所定位置に滞留機が置いてあった為、その付近に停車させ本機から降車した時、後ろから出荷検査員が運転するVi055（5tバックホー）がバックして来て、Vi055のブレード（排土板）とVi020のクローラの間に左足を挟まれ負傷する。	48	142	7	500 ～ 999
2017	2	10~11	被災労働者がボール盤を使用して製品の穴明け作業に従事していたが、加工数が多く急いでいたので、ボール盤を主軸を停止せず脱着作業を行った為、主軸に付いている回転工具に手袋着用の右手を巻	33	152	7	50～ 99

			き込まれ負傷したものである。				
2017	2	11~12	当事業所の客先（スポーツクラブ）にて、設置したろ過機の試運転中に客先の従業員が床に座っている被災者を確認した。左半身が汚れていたため本人に話を聞いたが、記憶がなく目撃者もないとのことであった。一時様子見で休息し、病院へ行った結果、左手首の骨折と頭部、左肩、左胸の打撲、頸椎捻挫をしており、健忘症と診断された。	46	999	99	50～ 99
2017	3	17~18	工場内でホイルローダーの元刃出しをするため、脚立の上に乗って元刃をガス切断していた。一気に切断すると熱で弓なりになってしまうため、中央部分を少し残して冷めてから残した部分を切ろうとしていたが、そのとき作業服に火の粉が飛び、そちらに気を取られ残す部分を切ってしまい、元刃が一気に外れ自分の方に飛んできて胸に当たり、脚立から落ちて負傷した。	68	521	4	10～ 29
2017	3	20~21	機械工場内でプラノミラーの加工のため、ジブクレーンを使ってステンレスの材料（約150kg）を持ち上げて移動しようとして右に向きを変えたとき、右膝がガクンと音がして急に右足が曲がらなくなった。	54	921	19	30～ 49
2017	3	16~17	工事責任者として現場で作業していた際、工事完了後に体が冷えていたため、事務所に戻る前に、計修管理室2階で温まるため、階段を中程まで上った。以降意識がなくなり、気が付くと階段下に落ちており、社員が倒れている本人を発見して救急車を要請した。意識がなくなった原因については、病院で検査中である。	59	413	1	500 ～ 999
2017	3	9~10	ラフタークレーンの溶接・組立て作業をフレームの上で行っていたところ、別の作業に移る際に足を踏み外して転落し、左胸部を強打し、肋骨を骨折した。	35	521	1	1～9
2017	3	0~1	当社工場において、プラスト機から製品（鉄の塊、幅30cm×奥行き10cm×高さ15cm、重量約20kg）をBOXパレットへ入れるため、製品を持ち変えた際にバランスを崩して転倒し、右足首を骨折	38	611	2	50～ 99

			した。				
2017	3	16~17	入社以来、プレス機による鉄板の加工作業に従事していた。主に7～8kgほど（重い物では15kg）の鉄板をプレス機に置き、プレスされた製品をプレス機から取り出して箱に入れる作業を繰り返していた。1日に2,000回程度この作業をしていたところ、だんだん腰が痛くなった。	29	521	19	30～ 49
2017	3	11~12	資材置場にて業者より納入された鋼材（総重量1115kg）をトラックから荷下ろし後、フォークリフトで移動する為鋼材の下に角材を入れようとした。その時、フォークリフトの爪の上に左足を踏み入れてしまい、その瞬間に鋼材が足のほうへ滑り、フォークリフトと鋼材に左足を挟まれ、左足の内側くるぶしの上を骨折した。	59	521	5	300 ～ 499
2017	3	16~17	工場1Fメインライン現場で現場内を歩行しているとき、溶接機と製品置台の間（約48cm）を通り抜けようとしたところ、溶接機の配線（太さ約1.2cm、3本がまとめられているもの）に足をとられ転倒し、左膝蓋骨を骨折した。	47	417	2	50～ 99
2017	3	10~11	工作機械のテーブル上で、鉄屑をほうきで除去する作業中、立てかけていたほうきを取ろうと、テーブルの縁の鉄屑用バケットに右足をかけた際、バケット内に右足が滑り落ち、バランスを崩して転倒した。そのとき右足つま先部がテーブルの下のかぼみに引っかかり抜けず、バケットの縁に右足首上部が圧迫されて骨折した。	35	418	2	50～ 99
2017	3	9~10	クレーン操作中、スプロケット（直径2mの丸い製品）の吊位置を変えようとして一度床に置いた時、スリングが緩んでいたため製品が自分の方に横滑りし、左足親指を骨折した。	33	211	6	30～ 49
2017	3	11~12	脚立にのぼり植栽の剪定作業を行っていたところ、3分の2程度切り込んだところで枝が折れ、自分の方へ倒れてきた。その際、折れた枝と脚立の足元に左足が挟まれ骨折した。	67	712	4	300 ～ 499
2017	3	14~15	常圧殺菌釜の設置作業中、脚立の上に乗って鉄パイプをつなげようとしていたところ、誤ってバランスを崩し、落下した際に足首をひ	34	371	1	10～

			ねり負傷した。				29
2017	3	16~17	箱に入った切粉を別の大きな箱に移す際、勢いで大きな箱の口元の鉄板に指と指の間が当たって切ってしまった。手袋をしていなかったことと、手元の確認が不十分であったことが原因である。	76	391	3	10~ 29
2017	3	14~15	帰宅時に構内メイン通路を歩行中、段差があり、足首を捻って転倒した。	48	419	2	500 ~ 999
2017	3	10~11	事業場内にて、自動丸鋸切断機に材料を固定するために油圧バイスを締めたところ、誤って材料と油圧バイスの間に右母指を挟んでしまい、負傷した。	39	159	7	30~ 49
2017	3	13~14	工場内で、自分専用の旋盤に製品を取り付け、ネジ部のバリをペーパーで取る作業をやり始めたときに回転方向に手が取られ、ペーパーを飛ばし、左手の平が直接ネジ部に触りケガをしてしまった。ネジ部の為、皮膚が肉と共に削れて無くなってしまった。通常はペーパーを板に付けてバリ取りを安全にするのだが、直接ペーパーを手にして加工をした事が、ケガにつながった。	56	151	8	1~9
2017	3	10~11	当社工場内において、半製品（金属板、たて20mm×よこ70mm×厚さ1mm）をプレスブレーキにて曲げ加工中、操作する金型下降用足踏スイッチの上に足を置いたまま、たわんだ金属傷防止シートを直していたところ、不意に足踏スイッチを踏んでしまい、両手の母指以外の指8本が金型に挟まれ骨折した。	27	154	7	50~ 99
2017	3	14~15	天井クレーンを製作中にクレーンガーターを作業中に、ジャッキアップ台を少し移動した際にジャッキが落下し、左手の上に落下した。	40	363	4	1~9
2017	3	16~17	本社機械第2工場にて、工作機械（NC横中ぐり盤）で本体加工検取りに、回転しているΦ50mmのカッターを回転していないと思い込み、ワークの状態を確認するため覗き込もうとし、右手首辺りを持って行ってしまい、手首から肘まで巻きこまれた。	34	152	7	100 ~ 299

2017	3	16~17	工場内にて旋盤でサンドペーパーをかけているとき、右手が巻き込まれた。	70	151	7	10~ 29
2017	3	13~14	製作工場でステンレス鋼板を曲げる作業中（1人）、ベンディングマシンのパンチとダイの間に手を入れて鋼板を掴む時にペダルを踏んでしまい、パンチとダイに挟まれて指を数本骨折した。	29	154	7	10~ 29
2017	3	13~14	工場内の組立エリアで歯車の清掃作業をしているときに、回転中の歯車にゴミが付着していたので取り除こうとしたところ、左手に持っていたウエスと装着していた手袋が歯車に巻き込まれ上肢左手指を損傷した。	22	121	7	30~ 49
2017	3	19~20	被災者は電動鋸機を使って、木材（厚み10mm×巾100mm×長さ2000mm）をカットしていた。機械に挟まった木材の木屑が気になり除去しようとした時に、刃が回転した状態で取り除こうとしたため、木屑が跳ねて指に当たり負傷した。	65	139	6	50~ 99
2017	3	13~14	機械B棟北側にて、痛みのある左足を補う為、自作の木の棒を杖として使用をしながら通路を移動中、通路で杖が滑り転倒しそうになった為、痛みがある左足で踏ん張った瞬間に左大腿骨折した。	61	417	19	100 ~ 299
2017	3	15~16	工場内の通路を歩行中、前方に部品が入ったダンボール箱があったため、避けて通過しようとしたところ、左足がダンボール箱と接触し、その反動で箱が回転し両足の間に挟まり、左膝から地面に強打した。	40	611	2	10~ 29
2017	3	7~8	工場内で、毎日ベアリング旋削加工用の機械の暖機運転を行っているが、誤って機械本体と製品切削用バイトの間に手を持って行き、右手中指を挟み、骨折した。	28	151	7	10~ 29
2017	3	13~14	旋盤でステンレスの材料を切削中、出てきたキリコを取り除こうと左手で引っ張ったところ、キリコで左手の人差し指と中指を切った。	65	521	8	10~ 29
			工場内でタンクの組み立てをするため、脚立（長さ2mほど）の5~				

2017	3	16~17	6段目に上って作業をしていた。移動しようとして、脚立に上ったままタンクに左足をかけ右足で脚立を動かしたところ、動かした先の床下に物が置いてあり、そこに脚立が右側に傾いてしまった。着地しようとして右足を着いたがバランスを崩し、左足をひねって被災した。	60	371	1	10～ 29
2017	3	14~15	当社工場、出荷棟洗浄場手前付近にて、組立前塗装完了品のギヤカバーを2個両手で持って移動中に、付近にあったバイス台に気付かず、ハンドルが左ひざに当たり床面に転倒した。その際、ハンドルにぶつけた左ひざ部分に打撲を負った。	69	364	2	100 ～ 299
2017	3	14~15	工場G棟の鋼板棚にて、斜めに立てかけてあった t16×1500×2000の鋼板を、イーグルクランプで挟み吊り上げようとしたところ、その板の前に不安定に立てかけてあった約170kgの鋼板 (t22×640×1500) が動き、左足に倒れ掛かったため右手で支えようとしたが支えきれず、地面との間に左足を挟まれ、足首を骨折した。	57	521	5	100 ～ 299
2017	4	11～ 12	洗浄を終えたショベルカーアタッチメント（油圧ブレーカー重さ約2,500kg）を、クレーンを使って所定の場所に戻そうと吊り上げた際に、吊り上げたブレーカーが横揺れし、その揺れをとめようと左手を出したが止めきれず、ブレーカーと所内の柱に挟まれ負傷した。	22	211	7	1～9
2017	4	8～9	リニューアル工事の安全巡視中、産業用ロボットの設置調整終了に伴い、巡視地点より右足を後退させた際に設備架台の隙間に靴が挟まり、転倒して腰を擦った。（他工場における出張作業）	49	167	2	1000 ～ 9999
2017	4	9～ 10	スクラップ工場において、束になったワイヤーをガス切断している時に、火の粉が作業服についた。右ふとももが熱いと感じた時には作業服が燃えていて、周囲にいた人が消火水で火を消した。	18	331	16	10～ 29
		10～	客先工場でフィードバーの高さを調整しようとガイドの解体作業していた。フィードバランサーにエアー圧が入ったままガイドを止				500

2017	4	11	めているボルトを緩めたため、エア圧によりガイドが瞬時に上昇し、フィードバーとガイドに左手を挟まれてしまった。	31	612	7	～ 999
2017	4	10～ 11	古紙の回収日であったため、計量を行い事務所を出る際、傘立てに右足を引っかけてしまい、その反動で3メートルくらい飛び転倒した。	19	153	8	1～9
2017	4	10～ 11	工場内で昇降リフトに乗って2Fから1Fに降りる時に、リフトが突然落下し、左足かかとを骨折した。	69	214	3	1～9
2017	4	15～ 16	場内プレスブレーキにて鋼材の曲げ加工中に、鋼材をセットし手を離し、フットスイッチを踏み込み終わってフットスイッチから足を離し、作業する工程中にフットスイッチ部に足を入れた状態で鋼材をセットして誤って指が挿入されている状態でフットスイッチを踏んでしまい、右手中指、薬指の第一関節から上が挟まれた。	18	154	7	50～ 99
2017	4	18～ 19	当社工場にて、バケット（総重量約2トン）の先端部を架台（高さ200mm）及び枕木（縦105×横105高さ80）を使用し、床面より440mmの高さに嵩上げた状態で溶接作業中（両膝を床面に付けた状態）に、枕木が割れ、その衝撃で、架台がバケット内に入りこみ、バケット先端部に被災者の両足大腿部が挟まれ負傷した。	38	521	4	50～ 99
2017	4	15～ 16	フライス盤で製品を加工中、工具に指を近づけてしまった為、左人差し指を挟んでしまった。	31	152	7	1～9
2017	4	11～ 12	工場内にて、高さ1.8m位のタラップの所からバランスをくずし落下し、左足を骨折した。	42	418	1	10～ 29
2017	4	11～ 12	当社5号工場にてロウ付した銅管の溶接具合を確認する為、銅管を切開しようとバンドソーを工場壁際の地面に置き、銅管をプライヤーで挟み体重を掛けながらバンドソーの刃に押し当てて切開していた時、切り終える直前に力加減を誤りプライヤーを支えていた左手が滑り、バンドソーの刃に接触し、左拇指と左示指の間を切創した。	46	159	8	50～ 99

2017	4	11～ 12	同工場内にてボール盤を使用し製品のバリ取り作業中、左手が回転部に接触しまき込まれ、親指を負傷した。	63	152	7	10～ 29
2017	4	14～ 15	工場内で窯業の窯上部を作成する為、上に登ろうとはしごをかけたが、はしごが滑り落下した。	30	371	1	—
2017	4	9～ 10	荷下し作業の際に、トラック荷台後部のあおり開き止めを自身で外し、あおりを倒さずに荷台上にあがり作業開始し、荷台から下りようとあおりに足をかけ転落した。着地と同時に右手をついて骨折した。	26	221	1	10～ 29
2017	4	9～ 10	会社工場内にてフライス盤を使用して平鉄の長穴加工の作業中、フライス盤のドリルが回転している状態で、手袋（やや厚手）をしたままオイルノズルを避けようとしたとき、誤って手袋ごとドリルに巻き込まれ、左手環指を負傷した。	60	152	7	1～9
2017	4	9～ 10	工場内構造物修理作業中、約5kgの工具を抱えて階段を上っている際、誤って階段を踏み外し転倒し、階段10段目くらいから下まで転がり、右足を負傷した。	53	413	1	1～9
2017	4	14～ 15	工場内で、約25kgの鉄缶の荷物を両手でトラックへ積もうとしてバランスをくずして、左手首に過重がかかり、左手首を捻挫した。なかなか痛みが取れず、その後、神経（筋）の損傷が判明した。	56	611	19	300 ～ 499
2017	4	19～ 20	弊社工場で機械を梱包するためリフトで機械を持ち上げてラップを巻きつける作業をしている時に、少し移動しようとしたところ、リフトの前輪で左足を踏まれた。	41	222	7	100 ～ 299
2017	4	16～ 17	工場内で溶接作業中、次の段取りをする為に製品の上へあがり、吊具を掛け替えた後、降りようとして脚立に足をかけた時、製品と製品の下に置いてあった片方の固定金具との間にすき間があった為に製品が下がり足を踏み外し、後に落下し背骨を損傷した。	66	371	1	30～ 49
2017	4	16～ 17	当社工場内にて、機械から鉄板を曲げる刃（幅120mm・長さ835mm・重さ25kg）を取り外していたところ、つかみ損ねて落と	22	521	4	10～ 29

			し、刃と機械の台の間に右小指を挟んだ。				
2017	4	14～ 15	工場内出荷場にてポンプ出荷用の木枠をエア式釘打ガンを使って作成していたところ誤って自分の足に釘を打ってしまい、左足親指のところを負傷した。なお、安全靴は着用していた。	61	364	4	50～ 99
2017	5	8～9	自社工場内NC旋盤で、ボルトねじ切り仕上げ加工前の表面が粗かったため、ペーパー（＃150）で、磨き処理をしていたところ、ペーパーが品物に巻き込まれ、ペーパーを持っていた右手が引っ張られて品物にぶつかり、右指を損傷する。	49	151	7	10～ 29
2017	5	17～ 18	当社工場近くのインターチェンジ付近の高速道路上で、客先より営業車で工場へ帰る際に誤って大型トラックに追突し負傷した。	37	231	17	—
2017	5	12～ 13	工場内でパレットに入った鉄丸棒（約7.5kg）を取り出す時に足元が滑り、パレットの枠に当たり打撲した。	54	611	3	1～9
2017	5	11～ 12	トイレ介助中、利用者の前方を介助する役割であった。利用者がトイレが終わり、車椅子に移る際、利用者の膝が崩れ前方に倒れたため支えたところ、利用者の体重がかかったため背中が反り痛めてしまった。	29	169	7	50～ 99
2017	5	20～ 21	ケーシング工程で研磨加工機を使用し加工を行っていた際、他の工程にある同様の加工機が停止していたため、その加工機を作動させようと急いで作業台（高さ10.5cm）から小走りに飛ぶような形で床面に着地した時に右足首を捻りその場にうずくまった。痛みはあったが作業が出来ない程ではなかったため最後まで勤務し、その後も痛みが引かなかった。	23	417	19	50～ 99
2017	5	16～ 17	注湯作業中、注湯が終了し、取鍋（とりべ）を後向きに移動している際に足をステップから踏み外し、左斜め後方にお尻、背中から倒れた。転倒時、手を取鍋から離れた際に取鍋が右回転し、残っていた（若干）湯が脚部へかかり、作業服も燃えた。	46	521	11	10～ 29
			第一工場にて、治具作りの為、汎用旋盤で丸棒を帯状の布ヤスリで				

2017	5	12～ 13	作業中、一旦加工機より離れ他の用で着用した軍手を着けたまま作業を再開した為、回転している丸棒と布ヤスリに軍手が巻き込まれ両腕を負傷した。	67	151	7	10～ 29
2017	5	18～ 19	鑄鉄一課溶解造型センター溶解場で作業中、湯道破砕機の設備とバツカンの間に湯道が噛み込んだので、稼働を停止後、設備内に入り、噛み込んだ湯道を取り除いた。その後、設備から出る途中で足を踏み外し、約1.3m下のフロアへ転落し、足から着地した際に設備で左肩を強打した。	33	417	1	100 ～ 299
2017	5	15～ 16	建設機械部品の寸法不良を手直するため、油圧ジャッキとパイプを使用し広げる作業を2人で行ない、1人はジャッキ、1人はパイプを手で持ち押さえていたところ、加圧が最大になったところでジャッキが外れ、パイプを持っていた1人がパイプと高さ調整をしていた当て木材の間に右手人差し指を挟み骨折した。	52	363	7	30～ 49
2017	5	17～ 18	工場内にて旋盤機を使用して金属加工を行っていたとき、作業途中にペーパーを使用して手作業で仕上げ作業を行っていた際、誤って回転している部分に左手先端部分及び右手先端部分が巻き込まれた（手袋着用）。	30	151	7	10～ 29
2017	5	11～ 12	工場内の作業場において、作業台の上にある金属加工物（186×14×18cm）にマグネットを付け持ち上げようとセッティングしていたところ、マグネットが外れてしまい、手で支えようとしたが、作業台と加工物の間に右手親指を挟んで骨折した。	69	372	7	1～9
2017	5	10～ 11	本社工場1階作業場において、鉄板（厚1.6×70×100cm）2枚をクレーンにて移動作業中、右手でクレーン操作し、左手を鉄板に添えていた為、バランスを崩して鉄板が滑り落ちた際、左手を引き遅れ小指を挟み、左手小指を裂傷（神経断裂）および骨折した。	34	211	7	10～ 29
2017	5	9～ 10	当社機械工場担当機械で作業中、使用工具を交換する為に両腕で持ち上げたところ、背中から鈍い音がして右側肩甲骨の下辺りから腰にかけて痛みがあり、呼吸も辛くなった。	46	921	19	10～ 29

2017	5	11～ 12	工場製缶場にて、30kgの材料を持ち上げるためにクレーンで吊り上げたが、クレーンの吊具がしっかり留まっていなかったために外れてしまい落下し、右足に当たった。その際、右足の甲（安全靴ガードがない部分）に落ちたので、右足首が切れ、甲には痛みとしびれがある。	48	372	4	30～ 49
2017	5	17～ 18	工場内でベンダー（折り曲げ機）の操作方法を先輩社員が説明し、ステンレス鋼板の厚さ3mm、幅388mm、長さ922mmの板を実際に曲げる作業を教えていた時に、外国人研修生に曲げるポイントを見ているよう声をかけて、先輩社員が実際に曲げようとしたところ、言葉がまだよく理解できていなかったのか、曲げようとしていた板に片側を補助しようとして右手を差し出してしまい、右手中指をベンダーに挟まれて中指を骨折した。	23	154	7	10～ 29
2017	5	13～ 14	派遣先工場にてガス器具の製造作業に従事中、鋼製パイプ（直径1cm、長さ20cm程）を加工機の差し込み口にセットし、機械が作動するとパイプを挟んで固定し加工を開始するのだが、パイプを深く持ってセットした為、安全センサーが指に反応して機械が作動しなかった。被災者は作動しない原因が分からず、作動ボタンを乱打しているうちに機械が作動してしまい、パイプを持っていた左手の母指が機械に挟まれた。	53	159	7	300 ～ 499
2017	5	14～ 15	工場内機械職場にて、8m旋盤での主軸加工を終え、ワイヤーを使い主軸を下ろそうと2人のうち1人が主軸の北側で玉掛け、もう1人が南側でクレーン操作を行い、両者がワイヤーを手で支えながら重心位置を指示していたところ、少し巻き上げたワイヤーが内側に絞られ、手を添えていたワイヤーと主軸の段差部との間に右手親指を挟まれてしまった。	30	211	7	100 ～ 299
2017	5	12～ 13	市場西冷蔵庫棟中2階に設置してあるユニットクーラーの寸法測定を行っていた際、寸法測定終了後、写真を撮っていた際に開口部に落下し、左腕を床に打ちつけ骨折した。	28	414	1	50～ 99

2017	5	12～ 13	被災者は、ロット切り替え作業で残品を確認していた。ラビットコンベア下部に残品を確認したため取り除き、他に残っていないか確認をしようと、動いているコンベア内に左手を入れ探している時、回ってきたコンベアのアタッチメントとフレームとで左手親指を挟んだ。	41	224	7	300 ～ 499
2017	5	8～9	当社工場にて製品をクレーンで吊り、床面に降ろす作業をしていた際、製品と機械面板と取り付け具との間に左手薬指を挟み負傷した。	32	211	7	1～9
2017	5	15～ 16	工場において、クレーンで1tの品物をトラックに積み替える作業中、フックの位置が品物の重心からずれて、品物からフックが外れて足の上に落ち両足を受傷した。	47	211	4	10～ 29
2017	5	11～ 12	C工場シャワー洗浄機にて、L6工程上がり品をシャワー洗浄作業を行う為、洗浄機コロコンにのせ移動させたところ、コロコン台がずれて傾きロット缶が落下した為、洗浄機のアングルとそのロット缶との間で右手小指を挟んだ。	36	169	7	300 ～ 499
2017	5	17～ 18	検査室で作業中、急ぎの仕事が入って小走りになったところ、足を滑らせ転倒した。右足に全体重が乗るように倒れてしまい、脱臼および骨折をした。	23	417	2	30～ 49
2017	5	17～ 18	パワーマスターを操作中、加工終了時に刃物台が原点に戻る時、センターと刃物台の間に足が挟まった。	23	151	7	10～ 29
2017	5	13～ 14	卓上グラインダーを使用してポジショナーに取り付けるL字型ワーク（長さ6.3cm、幅3.5cm、ステンレス製）のバリ取り作業中、バリを取る部分を変えるのに、角度を変えた時にワークがグラインダーに吸い込まれ、ワークを掴んでいた右手人差し指、中指、薬指を骨折した。	31	153	7	10～ 29
		9～	ピット多段式駐車場装置（地下1階地上2段式）のメンテナンス作業中（安全帯ベルト着用・不使用）、1階パレット（車両台）に脚立				10～

2017	5	10	を設置し、2段目（高さ約2.2m）に上がるために脚立から前方のゲートに足をかけた際に滑ってバランスを崩し、1階パレット上に落下した。	41	371	1	29
2017	5	9～10	600Aボディ溶接作業を中断し、足場に使っていたパレット（約14cm）から降りた際に右足首をひねり、痛みとうっ血があり、靱帯が切れていた。適度の高さにするためパレットの上に乗る、溶接後にパレットからフロアへ降りる際、段差は認識していたが目で確認しておらず、意識と実際の高さに差が生じて発生したと考えられる。	49	419	19	30～49
2017	5	10～11	当社工場2階女子トイレから1階の工場エリアに戻る際、東側玄関横の階段を急いで降りていたところ、階段の一番下の段で足を踏み外し、踵が一番下の段に引っ掛かり、左足を内側に捻った状態で着地し、捻挫してしまった。下りる際に手摺に手を添えていなかったこと、足元をよく見ていなかったことが原因である。	27	413	19	300～499
2017	5	15～16	工場内でバンドソーを使用してパイプ切断の連続作業を行っていた。材料を切断し、鋸刃ハウジングが下降端に達すると鋸刃の回転が自動的に停止するのだが、惰性の為に完全停止まで約10秒を要する。完全停止を確認せずに次の動作（鋸刃ハウジングを上昇させバイスを緩め材料を引き寄せる）に移ったため、回転する刃に軍手が触れて巻き込まれた。	59	159	7	50～99
2017	6	10～11	トラクター修理で屋根に上がるため、梯子を駆け上っている時にバランスを崩し、転倒落下した。一人作業で、下はコンクリートであり、固定はしていなかった。	75	371	1	1～9
2017	6	16～17	当社工場内にて、鋼材の在庫管理の為、置いてある製品の奥に行こうとして、右足が引っかかり転倒し、左手をついて骨折した。	54	521	2	10～29
2017	6	15～16	会社作業場内において、旋盤上の切りくずを取り除こうとしたところ、旋盤からはみ出した状態で引っかかっていた非常に細くて長い（直径0.05mm）切りくずに左手の人差し指を引っかけてしまい、切	36	151	8	1～9

			り傷を負った。				
2017	6	11～ 12	工場内でロール内部拔出作業の為に、ロールに付けていたワイヤーロープを被災者が跨ごうとしたところ、バランスを崩し床面に身体 の左側面を打ちつけた。	63	417	2	10～ 29
2017	6	9～ 10	梱包作業エリアにおいて、保管棚からダンボールを取る際、棚板1 段目に上り、中断の棚板を掴んで高い位置のダンボールを取ろうと したところ、掴んでいた棚板が持ち上がり、バランスを崩したた め、足元の棚板から降りた時、右膝を捻り骨折した。	33	391	19	500 ～ 999
2017	6	14～ 15	旋盤と棒グラインダーを使用して、センターの先端を研磨していた ところ、砥石が割れて飛散し、その一つが左腕に当たり損傷した。 (床上作業で、ヘルメット、安全靴を着用していた。)	68	151	4	50～ 99
2017	6	19～ 20	社内作業場で充填装置製作、調整中に、右手での電磁弁の誤操作に より、バルブ部エアシリンダーの接続箇所の汚れを拭き取ろうとし て、左手人差し指を挟んでしまい、第一関節部付近を断裂した。	37	169	7	1～9
2017	6	11～ 12	幼稚園園庭（芝生地）にて芝生刈り込み作業中、熱中症対策で水分 補給の為、園庭から、水筒が置いてある車に戻り、階段を上る途中 (3段目から4段目)で左足を踏み込み、右足が階段から離れた瞬 間、左膝からボキッと音がして、激痛がはしり動けなくなり、歩け なくなった。	57	413	19	10～ 29
2017	6	21～ 22	段差のある作業場で、場所を変えようと下段にあった配線ラックの 上におりた際、ラックが傾いてずり落ち、鉄板の角に足の脛をぶつ けた。その後、打撲痕の内部から足脛が膿んだ。(疾病)	63	391	3	1000 ～ 9999
2017	6	9～ 10	工場内で溶接作業をしている時に、溶接時に着用する顔と保護メガ ネのすき間から、溶接時に出るスパッタが入り、目に入ってしまった。	31	331	4	50～ 99
			被災者は、給材機付NC旋盤を使用していた。受注した空圧制御の 部品シャット(φ10×93.5)の成型加工中、被加工材と刃物との間				

2017	6	14～ 15	に切削屑が絡まった為、除去すべく備え付けのカギ爪付棒で掻き出そうとしたが上手くいかず、軍手着用のまま全停止（非常停止）ボタンを押すところを、オプションストップボタンを押してしまった。被災者は勘違いし、機械は全停止するものと思い、右手をその間に差し入れ、当該切削屑をつまみ出そうとした時に機械が再稼働し、右手示指DIP関節部を巻き込まれて受傷したものである。	55	151	7	30～ 49
2017	6	10～ 11	風圧測定室において、箆の持ち運びで下腹に力が入った時、左脇に激しい痛みが出た。（箆の規格:32/inch×2085TL×0.26t、重さ5kg）	41	921	19	10～ 29
2017	6	15～ 16	製缶場で、製品をクレーンで移動させている時に、玉掛けしていて、注意を怠り、ベルトに指を挟んだまま吊り上げてしまい、指を負傷してしまった。	73	372	7	10～ 29
2017	6	14～ 15	被災者は、工場作業場にて、油圧シリンダーに取り付けられているバルブを取り外すため、バルブ取付のネジ継手部を緩め、シリンダー内の残圧を抜きながら作業をしていたが、完全に抜け切っていなかったため、残圧によりバルブが跳ね、被災者の右前腕部に当たり負傷した。	51	391	6	50～ 99
2017	6	22～ 23	工場内で不良品の廃棄作業をしている際、約40kgの廃棄品が入ったコンテナを台車から廃材入れへ直接捨てようとし持ち上げた時、腰を痛めた。	20	921	19	500 ～ 999
2017	6	14～ 15	被災者がケース組立を二次熱交換溶接ロボットに装着する際、持ち替えた時に左手からワークが滑り、テーピングを巻いていなかった薬指を、加工されていない端面で、軍手を貫通して切創し、病院で5針縫合した。	31	521	8	300 ～ 499
2017	6	9～ 10	当社、第3工場マシニングセンター組立作業場で機械装置を作動させるために、電源コード（長さ約10m、太さ約25mm）を電源へ差し込もうとした際、コードが絡んでいたためコードを片手で持ち、回しながら伸ばしていたところ、先端に付いていた端子が右目に当たり負傷した。なお、災害発生日は、通常通り勤務していたが、	21	159	6	100 ～ 299

			午後になって目がかすむ症状が現れてきた。				
2017	6	9～ 10	工場36号棟2階クリーンルームにて、トルクレンチで製品のネジ締めを行っていたところ、ビット先端が折れて、勢い余って、添えていた左手の親指の付け根部に突き刺さった。	38	364	8	500 ～ 999
2017	6	14～ 15	歩行型全自動野菜移植機の圃場耐久試験中、植付速度時速1.7kmで走行中の機械の横につき、歩きながら機械の状況を観察していた。その時、クローラ内部に溜まった土が気になり、蹴って落とそうと左足を入れたところ、上部スプロケットとクローラの間に左足先端が挟まれた。	28	169	7	1000 ～ 9999
2017	6	11～ 12	本社工場1階で、旋盤加工の作業中に、誤って右手親指が回転部に接触した際、右手親指を創傷した。	30	151	8	50～ 99
2017	6	9～ 10	指示がないままバリを取り除こうとして、接地面が2/3しかない品物がぐらついて落下し、左足の甲に落ちて骨折した。	31	611	4	1～9
2017	6	16～ 17	作業中、同僚が探している刃物を一緒に探そうと思い、作業を中断して動かそうとした時に勢い余って、操作盤のレバーで手首を強打し負傷した。	63	151	3	300 ～ 499
2017	6	9～ 10	現場内の駐車場で車から荷物を降ろしている際、加害者が運転した車がRレンジとDレンジを間違えたため、追突して、二名が被災した。	32	231	6	1～9
2017	6	9～ 10	現場内の駐車場で車から荷物を降ろしている際、加害者が運転した車がRレンジとDレンジを間違えたため、追突して、二名が被災した。	33	231	6	1～9
2017	6	11～ 12	事業所の場内で、2人組でクラッシャーのスイングジョーの下部を解体中、機械の一部をガスで切断していたところ、切断した部分（円柱状、重さ1t強、長さ2m位）が落下した。円柱状であったため、地面を転がり、左足に当たった。その時、反対側にその前に切断していた機械の一部を置いていたため、挟まれて負傷した。	40	391	6	1～9

2017	6	10～11	作業場にて溶接の歪みを取る作業をしていた。自分で作成した治具を用いてハンマーで殴る途中、不安定で治具のセンターを打てず、手元が誤り左足膝の内側を殴ってしまった。	44	364	3	1～9
2017	6	8～9	トレーラーで搬入された鋼材（φ225、5800mm、1.8t）をトレーラーから鋼材置き場へ天井クレーンで運ぶ作業をしていた。2本の鋼材をワイヤー2本掛けの玉掛けで運搬し、作業員Bがクレーン操作で段積みされた鋼材上に着地させた。被災者と作業員Cが転倒止めを掛けて、作業員Cが鋼材後部にバールを差し込み仮固定し、作業員Bがフックを少し下げる操作をした後に、被災者が被災者側のワイヤーをフックから外した。着地させた鋼材の下に敷いていたリン木角材が下方向に下がり、荷崩れを起こして、被災者の足方向に転がった。被災者は避けようとしたが、足の上甲上に転がった鋼材に挟まれて受傷した。	22	521	5	1～9
2017	6	14～15	自動ガス溶断機の作業開始時に、火口に着火を試みたが着火できず、数度後に着火したが、火力が通常より弱かったので消火し、設備を点検したところ、酸素タンクのバルブが締まっていた。酸素タンクのバルブを開き火口に着火させると、酸素ホースと二次側圧力調整バルブが破裂した。そのため、着火作業をしていた作業員が、耳部に異常症状を受けた。	24	331	15	30～49
2017	6	14～15	他の作業員が、自動ガス溶断機の作業開始時、火口に着火を試みたが着火できず、数度後に着火したが、火力が通常より弱かったので消火し、設備を点検したところ、酸素タンクのバルブが締まっていた。酸素タンクのバルブを開き火口に着火させると、酸素ホースと二次側圧力調整バルブが破裂した。そのため、二次側圧力調整バルブ近くを通行していた作業員が、耳部に異常症状を受けた。	33	331	15	30～49
2017	6	13～14	工場内で機械加工するため、品物（形状山型、重量約60kg）を床上でナイロンスリングを使用し、クレーンで吊り上げて反転作業中に、ほぼ反転が終わりかけた時、ナイロンスリングが滑り落下し	26	211	4	30～49

			た。その時に品物を手で支えていたため、床と品物の間で指を挟み、左手中指に裂傷を負った。				
2017	6	9～10	荷降ろし作業中、クレーンで鋼材を荷と荷の間に降ろしていたところ、荷と荷の間に鋼材が引っ掛かったため、右手で寄せていた時、右手小指を挟み負傷した。	47	521	7	10～29
2017	6	14～15	工場出入口にて排水溝の掃除終了後、2人で付設の蓋を伏せていく作業中、手元がずれて、約20kgのコンクリート製蓋に右手指を挟み、右中指・環指挫傷、右環指末節骨折した。	62	529	7	1～9
2017	6	13～14	機材センターにて、同僚2人と小型バッチャープラント（3.9t）を13tトラックに積込作業中、バッチャープラントの上部に登って前かがみ姿勢でワイヤーを掛け、クレーンで吊り上げ始めたので、ワイヤーの張り具合を確認しようと前方上部を見上げたところ、ふらつき後ずさりした。この時、プラントの突起物（アングル）に躓いて体勢が崩れ、そのままの体勢で足から飛び降りるように転落し、地面で両足を強打し、両踵を骨折した。	43	211	1	1～9
2017	6	16～17	本社工場内にて、当社製品のそば製麺機（高さ1810mm、幅883mm、奥行き575mm、重さ170kg）を移動中、検査室入口の段差でバランスを崩し、機械が転倒した際、重さを支えきれず、そば製麺機の下敷きになり受傷した。両足をそば製麺機で挟み、両腕を床に打ちつけ、打撲を負った。	46	165	6	100～299
2017	7	16～17	工場内において、トラックフレームに穴をあける作業中、ドリルのキリが引っかかり、そのドリルの回転方向と逆に持っていかれた時、残った指がねじれ骨折した。	43	169	19	30～49
2017	7	9～10	整備工場内でコンバイン修理のためコンバインのキャタピラーを取り出す際に右手首をひねった。	38	169	19	1～9
2017	7	22～23	工場構内にて、ポジショナー（高さ約1m）メインフレーム裏面仕上げ溶接作業中に床面に降りる際、左足をブラケットに掛けたが、掛かりが浅く滑って後方に倒れ、左手でパイプをつかんだが支えき	32	142	2	1000～

			れずに、後方のブラケットにヘルメット後部を打ちつけた後、ヘルメットバンドとスクリューが接触、床面に臀部を打ちつけた。				9999
2017	7	11~12	トラックの荷台で作業中、足を滑らせて左足をパレットに強打し裂傷を負った。	28	152	7	1~9
2017	7	10~11	配送先にて、通常業務である、車両に積んだ荷物の積載状態をデジカメにて撮影している際に、他のパレットを移動していたフォークリフトにより、誤って接触されたため、転倒して背中から首及び足首にかけて強打し、打撲を負ってしまったもの。	18	521	19	30~ 49
2017	7	8~9	配送先に到着、納品を完了し空バット回収中、店舗駐車場内、車両後方に倒れている本人をお客様が発見し救急車を呼ぶ。店舗から連絡を受け、すぐに派遣元担当者へ報告、その後の対応を依頼する。派遣元担当を通じ診断書の提出を依頼中、亡くなられたとの連絡を派遣元担当より受けた。車→3tトラック	56	418	2	10~ 29
2017	7	14~15	工場内で、3.5m×2.5mのフレーム枠の上部を吊り、クレーンで10cm程持ち上げたところ、補強として仮溶接してあった長さ3.7m重さ35kg程度のL字アングルに負荷がかかり、外れて、2m程の高さから、両足に補強アングルが落下し、両足の甲を骨折した。負傷した被災者は派遣社員で、派遣先である工場内での作業中に負傷したものである。	42	521	4	10~ 29
2017	7	15~16	当社作業場内に於いて、高速カッターで切断作業を行うため準備中、フラット板（25t×65×3000L）を誤って落とし、左足甲に当たり負傷したもの。	20	521	4	1~9
2017	7	15~16	水処理（脱水）機上部（高さ約1.5m）にて整備作業中、チェーン交換のために工具を取りに地上に降りようと脚立に移る時に左足を滑らせ落下してしまった。	19	371	1	10~ 29
2017	7	9~10	倉庫内で作業中、普段からポロシャツを着て作業していたが、ポロシャツの袖を境に両上肢、シャツから出ている部分に発赤疹がみら	64	514	12	100 ~

			れるようになり、作業中に使用していた錆び止めのスプレーが原因であった。今後作業の際には長袖の着用を検討する。				299
2017	7	10~11	工場内のNC旋盤のベルトを掃除している時に、機械を止めないで掃除をしたため右手指先を巻き込まれてしまった。	25	121	7	1~9
2017	7	17~18	本社工場内にて加工前の準備作業として、材料である鉄の丸棒の皮むき（錆取りなどの表面をきれいにする）を旋盤を使用し丸棒を回転させながら行っていた際に、作業済みの表面部分に気になるところがあり、手袋をした状態で触れたところ、残っていた表面の凹凸に手袋が引っ掛かってしまい、慌てて手袋から手を引き抜こうとした際に強い負荷がかかり負傷したものである。	68	151	7	30~49
2017	7	12~13	工場内で旋盤にてスクリー軸の仕上げ加工をしている時にスクリー部分で右手を叩いてしまい右手中指を骨折・腱を負傷してしまった。	67	151	6	10~29
2017	7	20~21	工場内において、マシニングセンター内でテレスコカバーに乗り治具を取り付けていたところ、バランスを崩し滑って転倒（転落）した際、右手第四指を負傷したものの。	38	151	1	50~99
2017	7	11~12	工場内にて作業中に脚立から足を踏み外して脚立の角で左足のすねを切った。	52	371	1	30~49
2017	7	18~19	当社組み立工場にて、機械部品を移動させるためそれを載せている台からクレーンで吊り上げようとしていた。吊り具をクレーンのフックに掛け、上昇させていたところ、本来は張った状態になるべき吊り具の一部がたるんだまま部品が傾いた状態で上がった。斜めになりバランスを失った部品は、台（2台の内、1台）から外れてしまい、作業者の右足の甲付近に倒れてきて負傷した。	31	211	4	100~299
2017	7	11~12	ショットブラスト材でショット作業をしている時に作動中のコンベア上の処理後製品を直接で取り扱い安全扉と処理後製品に指が挟まれ受傷した。	69	224	7	30~49

2017	7	14~15	機械場で加工品を移動するため、ハンドリフトに載せようとして、動かそうと加工品を持った時それが転がりハンドリフトの背当てに当たった。そこに指があったのでハンドリフトと加工品の間に挟まり負傷した。	46	362	7	10~ 29
2017	7	16~17	本社工場内で架台（長さ7m横2.5m厚み15mm重量約1t鉄材）の溶接作業をしていた。反対側に向きを変えようと天井クレーン（2t）を使ってつり上げたところ、クレーンのベルト（巾3cm長さ50m布製）が2m位上がったところで切れ架台が倒れ下敷きになって両足を挟まれ負傷した。	46	372	4	10~ 29
2017	7	11~12	工場内で遠心分離装置を用いてシャフトの洗浄を行っていた際に遠心分離装置の蓋を開けワークを開けワークを取り出した所、本来100度程度開くがうしろに棚がありアミかごが置いてあったため90度程度しか開いていなかった。しっかりと開いていない蓋が作業中に閉じ、手を挟んだ。	59	161	7	500 ~ 999
2017	7	16~17	機械点検のため、機械に固定して脚立をかけて上まで上がり、点検後降りてその脚立を片付けたときに無理な姿勢で重い脚立（重量10k）を持ち上げた際に腰を痛めた。	68	921	19	10~ 29
2017	7	10~11	電子工場で、製品の組立作業に従事中、工業機械部品のボルトを締めつける工程で、万力に部品を固定し、ボルトの右からスパナを掛けて両手で体重をかけながら手前に引いて締めていた時、ボルトからスパナが外れ、そのまま後方に転倒した。転倒の際、後方の作業台で首、背中などを強く打って受傷した。	41	364	3	50~ 99
2017	7	17~18	工場内のミゾイレ加工機の製品を締めつける装置に人差し指を挟まれて骨折した。製品を持ったまま、締めつけのレバーを入れたため挟まれてしまった。	25	159	7	1~9
			工場機械加工ライン、刃具交換作業をしている時、設備を自動運転から各個動作に切替、刃具交換作業に移った際、主軸のプーリーベルトの張りも同時に確認しようとして、プーリーカバーの隙間か				100

2017	7	16~17	ら、手先を入れた時、カバーで覆われていたために、主軸が回転動作していることに気づかず、回転するベルトとプーリーの間に指先を挟まれ負傷した。	39	121	7	～ 299
2017	7	13~14	工場内のフライス機械作業場において、フライス機を使用しアルミ製品の仕上げ作業を行っている時、めまいを起こし、手を添えた場所がフライス機の刃物の回転部分だったため左手ひとさし指と中指を負傷した。	32	152	8	30～ 49
2017	7	10~11	プラスチック工学研究所構内（倉庫前付近）でパレットに載せた荷物をフォークリフトで持ち上げ移動中荷崩れが発生した。慌てて下車し、荷物の状態を確認しに前方へ行った際、フォークリフトが少し動き体に接触した。	31	222	6	30～ 49
2017	7	11~12	立旋盤機のテーブルの上で機械を止めて段取りを変える時、降りようとしたところ、手が滑って落ちそうになり、右足で落ちないように踏ん張った。その際右足のひざ内側の筋を痛めた。	38	151	19	10～ 29
2017	7	13~14	クレーンで鋼材を吊り上げ、台の上に移動させようとしたところ、台に鋼材が当たり台が倒れて左足を骨折した。	66	211	6	1～9
2017	7	10~11	段ボールケース置場において、梱包用段ボールケース（1,000×1,650×50mm重量4.1kg）を設置された棚から取り出そうとした際に、自身の背丈ほどの大きさだったため、腰を後にそらし横に段ボールケースを移動した時、腰をそらした状態で腰を捻ったために4日間の休養を要する急性腰痛症を負った。	30	611	19	100 ～ 299
2017	7	8~9	カエリ取り室の自席に座っていて予鈴が鳴ったので席の隣のゴミ箱へゴミを捨て、朝礼に向かおうとした時に、ゴミ箱のそばに置いてあるパレットに足がひっかかり、転倒し、肩を強打した。当日は痛みを我慢して定時まで作業して帰宅したが、痛みが激しかった。右肩骨折と診断された。	50	416	2	10～ 29
			油圧ショベル部品ベースフレームライン溶接P4作業場にて、フ				

2017	7	16~17	レーム製作中に次の作業へ移る際に乗っていた作業リフターから、踏み台に降りる時に、左足を踏み台に降ろし、右足を踏み台が有ると思い込んで降ろしたが、踏み台がない中央のレールがある箇所に足を降ろしたため、バランスを崩し、落下して右足首を被災した。次の作業箇所に気をとられて、足元が確認できていなかった（本人談）。	46	411	1	1000 ～ 9999
2017	7	17~18	本人は、退社時構内正門付近の横断歩道を左右確認後、徒歩で横断していたところ、東側から減速せず走行してきたタクシーに追突され受傷した。	61	231	6	1000 ～ 9999
2017	7	17~18	工場外周で、屋根散水用ドレン弁を開いて水が出るか確認するために、雨トコと散水用ドレン弁に気を取られながら歩行していた時、雨水浸透枳段差を踏み外し足首をひねり小石の上に、踝がのる状態で転倒したため、左足関節外顆骨折した。	46	418	2	50～ 99
2017	7	14~15	サンダーで部品を削っていたらサンダーが割れて、そのはずみで手が滑り左手首を切った。	34	153	8	10～ 29
2017	7	8~9	製作工場内において、汎用旋盤を使用して、製品（φ30×60L）をチャッキングし布ヤスリ掛け作業中軍手を着用していたため、軍手が布ヤスリ及びチャックに絡まり人差し指が巻きこまれ、爪部から上を損傷。	68	151	7	10～ 29
2017	7	14~15	当社工場内組立場において工具棚から工具を取り出そうとしてバランスを崩し前のめりに倒れその際左腕を床に打ちつけ左肩を脱臼。（暑さのせいでボーとしていたこともあり）	74	417	3	30～ 49
2017	7	15~16	自宅兼事務所駐車場で冷蔵庫を2tトラックの荷台に引き上げようとした時、ドアが開かないようにしていたチェーンを持ち、引き上げたところ少し動き下から持ち上げる力とでチェーンの間に指が挟まった。	34	611	7	1～9
2017	7	9~10	工場内で建築資材を運んでいたところパレットに足が挟まり、バランスを崩して鉄骨（チャンネル）に手をついて鉄骨が倒れ掛かっ	59	521	6	1～9

			た。避けきれずに左足首の上に鉄骨が倒れて負傷した。				
2017	7	11~12	当社工場内にて、溶接作業の途中で水分補給をしていたところ、気分が悪くなったため、冷房の効いたところで休憩していたが、急に、頭痛、吐き気、指のしびれを起こし、動けなくなった。熱中症と診断された。	23	715	11	10~ 29
2017	7	22~23	工場内の独立した洗浄室で工具の洗浄作業を1日4時間程度行っていた。前月に水分を飛ばす作業で使用するエアブローガンを強力なパルスエアガンに変更後、エアブロー時に室内に響く音がかなり大きかった為、同日中旬より耳栓を着用して作業していた。耳栓はアラーム音や人の話が聞きとれる程度の仕様で、その後左耳に耳鳴りなどの症状が現れた。	27	391	99	30~ 49
2017	7	14~15	当工場内で金属製ねじを汎用旋盤で加工する作業中、機材を動かしたままねじに付いた削りくずを布で拭きとろうとした際、布と右手の小指が機械に巻き込まれて切断し、救急車で搬送された。（内径ネジに巻き込まれてちぎれてしまった。）	27	151	7	50~ 99
2017	7	17~18	工場構内、新ヤード引当立場にて垂直タワーサブ組立を実施中にシリンダーの固定を忘れ、タワーを起した時シリンダーが倒れ作業着の左下腹部、左太腿に当たり負傷した。	53	911	5	1000 ~ 9999
2017	7	14~15	板金工事において、農業機械部品の作成で150トンプレス機械を使用して、耕運機（主変速）の送り抜き作業が終了し、プレス機右横の台の上で、作業票の記入をし、それが終わり、再びプレス機の正面に行き、抜きカスを取ろうと、ビニール手袋をした手を出し、思わず足でフットスイッチを踏んでしまい、機械が作動し、右手を金型に挟まれて負傷した。長さ1m強の抜き打ち作業終了後に、抜きカスを取ろうとしたものであり、安全装置は、切の状態であった。	38	154	7	100 ~ 299
2017	7	10~	工場内でKP車輪（トラクタ用補助車輪）のパイプベンダー作業中に、曲がってくるパイプをベンダーロールに干渉させないようにするため、パイプを持ち上げようとしたとき、右手中指をベンダー	22	159	7	50~

		11	ロールとパイプに挟み込んでしまい、指先1cmを損傷し、中指の骨にひびが入ってしまった。				99
2017	7	11～ 12	旋盤作業中、左手を機械に巻き込まれて、手首を損傷した。	31	151	7	1～9
2017	7	13～ 14	工場内で、ベンダー（曲げ加工機）を使いステンレス板（1300mm×900mm）を加工中に、板をセットして左手がのっている時にフットスイッチを踏んでしまい、左手第2指から第5指を挫滅した。	45	154	7	10～ 29
2017	7	11～ 12	工場の組立場で、部品の内径を大きくするため、ボール盤を使って削る作業をしていたところ、リーマ棒に巻き込まれ、薬指を骨折した。最初は素手で作業していたが、指が痛くなってきたので手袋をしたところ、巻き込まれたものである。	69	152	7	30～ 49
2017	7	11～ 12	当社工場において、架台の上に乗り、クレーンでコンベアを吊って架台の上に置く作業の補助を行っているときに、足場が狭かったため誤って右足を踏み外してしまい、約30cm下の架台に転落して右膝を強打した。	24	371	1	30～ 49
2017	7	16～ 17	パート勤務が終了したので、就業場所の2階より3階ロッカー室で着替え、1階に向かって階段を下り終えたがその下に段差があり（高さ6cm程）、その段差で足を捻り、そのまま捻った側に倒れてしまい、足を痛めた（右足第5中足骨骨折）。	50	417	2	100 ～ 299
2017	7	13～ 14	工場の組立棟において、発注のミキシングロールのギヤカップリングの抜取作業を行っていた際、油圧ジャッキを使用し抜いている最中に、油圧ジャッキが外れ飛来し、作業者の左手中指の先と両足にぶつかり、中指の先端の骨折と左右の足に打撲を負った。	33	391	4	10～ 29
2017	7	9～ 10	客先の上場内で、人とすれ違う際に壁に手を掛けたつもりが、壁に立て掛けてあった刃物に手を置いてしまい、右手の手の平を8～9cm位切ってしまった。	44	911	8	30～ 49
			本社工場棟で、2人1組でパネルの枠入れ作業をしているとき、パネ				

2017	7	11～ 12	ルの鉄板を持ち上げる際に相手とタイミングが合わず、焦ったため手を滑らせ、鉄板の切りっぱなしで鋭くなっている所で右掌を切り負傷した。	36	521	8	50～ 99
2017	7	16～ 17	直径140mm・長さ1700mmの鉄の丸材をワイヤーで吊り上げるため、まずワイヤーを鉄材の下に通すため、マグネットにて鉄材を吊り、添え木を下に挿入しようとしたところ、鉄材がマグネットから外れ、添え木を持っていた左手が引っ張られて、左腕が鉄材に挟まれてしまった。	39	372	4	10～ 29
2017	7	8～9	事業場内の工場において、品物の入った荷物を持とうとして、少しバックしたときに、足が滑り転倒した。その際に右肘を床についたが、右肩に強く力が働いて、右肩関節の肩甲骨を負傷した。	66	416	2	10～ 29
2017	7	17～ 18	本社B工場内において、エアーキャップで梱包された機械部品のスライド軸を取り出しそうとして、カッターでエアーキャップを留めてあるビニールテープを切ろうと下から上に切ったとき、勢い余ってカッターの刃で目を傷つけた。	18	364	8	10～ 29
2017	7	14～ 15	工場内で電話中、音声聞き取りにくかった為、工場外へ電話をしながら出ようとしたとき、切断後の端材に足が引っかかり転倒し、左膝を床に強打し負傷した。	53	521	2	50～ 99
2017	7	2～3	当社第一工場内において、使い終えた治具を中2階倉庫へ戻し、階段を降りて作業場へ帰ろうとしたときに、下から3段目の階段の滑り止めに躓き、体勢を崩した状態で滑り落ちた際に、階段に腰を打ちつけ、足を床に着いたときに捻ってしまい、足首を受傷した。	43	413	1	100 ～ 299
2017	7	9～ 10	製造工場内板金作業場にて、ひも出しロール機（鉄板に溝を作る機械）で作業するため、準備作業としてロール部のさび等を拭いていたとき、誤って足踏みスイッチを踏んでしまったため、機械が動作してしまい、回転したロール部に右手が巻き込まれ、薬指を骨折した。	55	163	7	30～ 49
			2階製造部作業場にて、ウレタン加工時に右手にドリル、左手でウ				

2017	7	11～ 12	レタンを押さえて作業していた。通常作業ではなくイレギュラーな作業だったこともあり、特に安全装置などがなく、電動ドリルを誤って左手小指に干渉させてしまった。	51	364	7	30～ 49
2017	7	13～ 14	勤務先工場内にて、バーチカル加工機で加工作業を行うためにワークをセットする作業中に、ワークをバイスにセットするための位置調整にプラスチックハンマーを使用していたが、誤ってワークを保持していた自身の左手を打撃してしまい、左手中指を負傷した。	44	364	90	10～ 29
2017	7	13～ 14	塗装場にて、モーターを載せる鉄の台（150kg）をクレーンで移動させようとしていた際、2ヶ所に引っ掛けていたフックが1ヶ所外れ、バランスを崩して落ち、左足の甲へ倒れてきた。	55	372	5	10～ 29
2017	7	16～ 17	工場内の機械作業場において、ボール盤で穴あけ作業中、ボール盤の回転を止めずに左手で切粉を取り除こうとした際、左手をボール盤に巻かれ負傷した。	19	152	7	10～ 29
2017	7	8～9	通常はエアーホースを抜き、治具の交換をするが、その時に限り、エアーホースを差したまま入れ替えを行った。間違えて右手がレバーに触れたため、機械の一部が動き出し、左手の小指が挟まれ負傷した。	43	169	7	50～ 99
2017	7	14～ 15	客先工場で、鉄製の踏み台（長さ2m、重さ30kg）を2人で持ち上げて運んでいるとき、躓いて体勢が崩れ、持っていた踏み台がずれて、その踏み台の角で左膝の内側を強く打ち負傷した。	54	611	3	50～ 99
2017	7	7～8	駐車場から工場へ行く途中、転んで手をついた時に損傷した。	55	418	2	10～ 29
2017	7	10～ 11	工作機械の工具交換中、工具を胸の前で保持したまま体をひねり、その時に痛みが発生した。	67	921	19	10～ 29
2017	7	0～1	被災者は、工場ESR炉作業場で、ESR炉溶解後の片付け作業をするため、1人でクレーン作業を行っていた。食事休憩の時間になっても戻って来ないため様子を見に行ったところ、作業場北側のESR電	52	211	1	1000 ～ 9999

			極置場で倒れているのを発見した。				
2017	7	10～ 11	工場内でフォークリフトで積み込み作業中、フォークリフトを止め、荷物の確認をするためにフォークリフトから降りようとしたところ、レバーに服が引っ掛かり、誤って足を滑らせ転倒した。その際に臀部を強打し、背中から腰にかけて負傷した。	69	222	1	1～9
2017	7	17～ 18	会社工場内のプレス機械で、ステンレスの板を曲げているときに、不注意で右手薬指をプレス機械に挟み骨折した事故である。	40	154	7	30～ 49
2017	7	10～ 11	海苔の攪拌機（縦270mm、横500mm、高さ80mm、重さ230kg）の組み立て作業をしていた。架台（縦2700mm、横500mm、高さ200mm、重さ180kg）に取り付けた軸（直径50mm、高さ70mm）、受主軸（直径80mm、高さ70mm）と減速機（縦300mm、横300mm、高さ500mm、重さ50kg）出力軸をはめ込む際に、減速機を吊り、バンドで縛り、ホイスト（クレーン）で吊り上げ、キーの位置を合わせたあと、軸が少し入るまで、手元スイッチでホイストを下げて減速機を降ろし、軸が真っ直ぐになったときに減速機を降ろしたところ、スパンサーパイプ（直径34mm、高さ100mm）に左手を置いていたため、左手薬指を挟んで骨折した。	70	165	7	1～9
2017	7	11～ 12	工場内で脚立に乗って機械の組立作業中、工具で締め付けを行っていたとき、工具が破損し、その反動で後ろに転落した。	37	364	1	10～ 29
2017	9	15～ 16	当社工場内において、乗用車の古いミッションを乗せ替えるため、エンジンをコンクリート床面に降ろして、新しいミッションを取り付け後、エンジンを車に戻す為にワイヤー2本で吊り上げた際、片方のワイヤーのフックが伸びて外れ、ミッションが頭部と額に当たり負傷した。	48	372	6	1～9
			工場内で型板（長さ1500mm幅1930mm厚さ29mm重量約670kg）を使用し曲げ加工を行おうとしていた。天井クレーン（5t）及び縦吊りクランプを使用し型板を縦吊りした状態でペンディングロールの上部ローラーと下部ローラーの隙間に型板の端部を被災者が手				

2017	9	15～ 16	で押して差し込んでいたところ、ペンディングロール本体に型板が当たり、縦吊りクランプに掛かる荷重が抜けてクランプが外れ型板が倒れて被災者の頭部に当たり被災した。厚さ25mmまでのクランプを使用し、29mmの型板を挟んだ事、ペンディングロールまでしっかり届かない天井クレーンを使用してしまった事が原因と考えられる。別の天井クレーンを使用していればペンディングロールまで型板が届き、作業員が吊り荷を押す必要はなかったが、安全よりも作業を急いでしまったのが要因と思われる。	55	372	4	30～ 49
2017	9	15～ 16	当社工場内に於いて、工作機械（マシニングセンタ）にて、設置された踏み台（高さ66cm）に上り、段取り作業を行っていたところ、モールドベースを固定する為のボルトを六角レンチで緩めようとした時に、ボルト頭部から六角レンチが外れ、その勢いで後方へ転落し床へ落下した際に背面を強打し、右肋骨・右手人差し指を亀裂骨折、鼠径部を捻挫した。	55	371	1	50～ 99
2017	9	11～ 12	工場棟内S棟1スパンにてZX850トラックフレームに上板を乗せ、上板に付いていたイーグルクランプを外す為、トラックフレームを乗せていた定盤に乗った時、クレーンシーグカバーに頭をぶつけ負傷した。	33	211	3	1000 ～ 9999
2017	9	10～ 11	茨城ヤード20+クレーン下の荷降し場所にて返却された部材（クライミング架台）の荷降作業を行っていた。荷降された部材を保管場所へ移す為、部材上部で玉掛け作業を行い、玉掛け作業終了後、部材上部を歩行中にバランスを崩し部材より転落し、左腕の肘を強打した。（部材の高さ約2mから転落）	39	612	1	30～ 49
2017	9	17～ 18	A2棟組立室6洗浄作業で部品を洗浄後、横に向ける際、部品とナイロンスリングの間にはさまれ、左手中指右端の欠損した。	22	372	7	100 ～ 299
2017	9	13～	工場内にて、機械加工の段取りをする際に、材料（鉄約15kg）を持ち上げた時、右肩に痛みを感じて、そのまま病院に行き検査した	53	521	19	1～9

		14	ところ、右腕の腱の断裂との診断だった。				
2017	9	0～1	工場内加工職場で、釘打機ドライバ加工工程の、マシニング段取り作業をしていた。その際、使用していた六角レンチを作業台に置こうとしたが、後方に落としてしまった。拾おうとして右回りに振り向いた際、右足首を捻り受傷した。	42	921	19	500 ～ 999
2017	9	13～ 14	弊社の工場内で（ハム・かまぼこ等の成型器を製造している）部品をプレス機で加工中、いすをすべらせてしまい右手の手元がくるい右手ひとさし指を負傷した。	68	154	7	1～9
2017	9	9～ 10	木箱を平の台車に載せ運搬中方向転換させようと回し始めた所、バランスを崩した木箱が台車から転がり落ち、その際木箱の下に手を挟まれる形となり、ケガをしました。1人で方向転換を行おうとした事で、バランスが崩れたものである。	53	362	4	100 ～ 299
2017	9	9～ 10	工場と隣接するビルとの境界にある塀に上り、除草剤を散布していた、作業終了し塀の上から（約2m）飛び降りたところ、腰骨と圧迫骨折した、脚立の用意がなく、本人の安全意識が希薄であったことから、自らの身体を過信した。本人の圧迫骨折により、3ヶ月近くの休業が見込まれる。	31	419	1	30～ 49
2017	9	9～ 10	工場内において、機械器具製造中、チェンブロックに部品を吊り下げて埋め込む作業中、工作機械の金属製のふたに手袋をはさまれてしまい、そのまま右手親指を巻き込まれて負傷したものである。	45	211	7	10～ 29
2017	9	16～ 17	工場C棟通路で、台車に積んでいた空箱を降ろし、台車を所定の置場に移動する時、台車が重く（11kg）、手で持ち運ぶ事が辛くなり、床に置き右足で押した。その際、台車が勢いよく前に進み、バランスを崩し転倒、右足が踏ん張れずに伸びてしまった。	63	362	2	100 ～ 299
2017	9	11～ 12	第1工場シール工場で、通常通り加工作業をしていた。トイレ休憩をし、トイレから出て職場に戻ろうとした時、トイレ出口の階段を一段下りた所でバランスを崩し、足を捻り被災した。（壁にもた	37	413	2	100 ～

			れかかる程度で転倒なし、当日は特に、体調不良や考え事をしながらの歩行はしていなかった。)				299
2017	9	8～9	工場内において、シャーリングでステンレス板を10cm毎に切断作業中に、残り短くなった板を切断する為に、安全カバーの内側にある板おさえに指を入れてしまい、右手中指先端を挟んでしまった。	48	156	8	50～ 99
2017	9	8～9	構内作業場にて、直立ボール盤を使い鉄板に穴を開ける作業中、誤ってボール盤の回転軸に左手の手袋が巻きつき、そのまま腕が巻き込まれた。なんとか右手でスイッチを切り、回転を止めることができたが、左手首を負傷した。痛みが激しく急いで病院を受診、橈骨骨折と診断された。	50	152	7	10～ 29
2017	9	9～ 10	板金工場内、溶接場で製品に溶接ナットを溶着の際に、インバータースポット溶接機の溶接電極部で左手人差し指を挟んでしまい、開放骨折と診断された。	29	339	7	50～ 99
2017	9	23～ 24	当社工場塗装ラインにて荷卸し作業中、荷を引っ掛けていた、S字フックが外れ左目付近にあたり負傷した。	61	372	4	30～ 49
2017	9	15～ 16	1.5m位の高さがある装置上（脚立）で直接装置に乗って作業中、目線より少し上にある部品を交換している際にバランスを崩し転倒した。	49	371	1	30～ 49
2017	9	17～ 18	当社第三工場内に於いて、休憩中に敷地内駐車場に設置された自販機へ飲み物を買に行く途中、工場全体が休憩であったため、通路を通らずに機械部品（13.5cm×63.7cm×117cm、鉄製）を高さ約160cmまで吊り上げて作業中断中であつた塗装場を横切っていた処、夕陽が射し込み前方が見えにくく誤って機械部品の角に顔面をぶつけ左目に受傷したものである。	42	612	3	1～9
2017	9	9～ 10	本社工場にて重量10kg程の万力を別場所に移動しようとした時にバランスを崩して、万力を落下させてしまい直接左手に落下し、打撲骨折したものである。	42	379	4	10～ 29

2017	9	15～ 16	当社工場A棟のCWT組立場において、プレート（t25*550*940:78kg）を約20cmの高さでパイプと爪付き油圧ジャッキで仮置きした、そのプレートを両手で約30mm動かそうとした際に、爪付き油圧ジャッキから外れ、両手を挟まれた。	36	391	7	100 ～ 299
2017	9	10～ 11	工場内において鉄板の溶接作業の補助で脚立にのって鉄板をささえる作業をしている時に、持つ体勢を右から左に変えようと重心移動をしようとした時に右膝からパキッと音がして痛みが走り、脚立からずり落ちてしまった。	27	371	1	1～9
2017	9	16～ 17	作業場で抜型の材料であるベニヤ板を棚から取り出す際に、誤って肩に負担が掛かり、右肩を傷めたものである。	22	522	19	10～ 29
2017	9	11～ 12	自社の工場内で、クレーンの玉掛け作業中に吊り具が外れて、吊り具が掛かっていた鉄板（約1.5t）が横滑りしてきて、その鉄板が落ちてくるのを避けようとしたが、転倒して足を挟まれた、その際は、特に問題ないと思い、納品のため外出したが、耐えきれなくなり、病院へ連れて行かれた。	32	372	4	1～9
2017	9	9～ 10	工場内でグラインダーを使用した製缶品のバリ取り作業終了後、通常の作業環境で特に不安全や有害な状況もなし、グラインダーのスイッチを切り、製缶品の上部にグラインダーを置いて他の作業に入る時、完全に停止していなかったグラインダーがズレ動き製缶品から落下し左そけい部に刃が当たり出血した。	75	159	4	10～ 29
2017	9	16～ 17	現場において、パレットが3段積み上がっていて、3段目の足が外れており、2段目に上がって支えていたところ、3段目のパレットをフォークリフトが動かした際に、3段目のパレットを支えていた手が外れて下に落ち、左腕で支えた為、左手を痛めた。	29	611	1	30～ 49
2017	9	14～ 15	旋盤装置においてロールの加工作業中、回転する加工品に付着した切粉に、右腕を巻き込まれ、右手前腕部で裂断した。	40	151	7	30～ 49
2017	9	10～	工場内でフランジ（φ136cm×厚さ12mm、重量80kg、ステンレス製）をクレーンで吊り、下ろした際にクランプから外れて右足に	53	372	4	10～

		11	当たった。				29
2017	9	8～9	会議室にてパソコンデータ投影用の収納式スクリーンを広げた際、スクリーンの足（高さ15m）に躓き転倒し、左手をついた際、左手首を骨折した。	56	417	2	1000 ～ 9999
2017	9	12～ 13	第5生産課CRB1区工程外径センタレス（粗加工）機にて、設備段取後、ワークを流動させた、ワークが残り少なくなってきた為、最終ワークの最後に外径ダミーをセットした。砥石の手前まで左手でダミーを押していた時、考え事をしていた為、左手が砥石入口部分までダミーを押してしまい、ブレードと砥石に左手中指が巻き込まれ受傷した。	34	153	7	1000 ～ 9999
2017	9	16～ 17	当工場に於いて、機械にのせて加工する為、横に置いてあった材料を寄せていた時、手がすべって足に当たり、負傷した。	49	521	4	30～ 49
2017	9	10～ 11	工場内でガス切断器での切断作業中、対象物を切り終え点火したままの切断器を近くの棚に引っかけたまま次の対象物と交換しようとした為、切断器が滑って顔面に落下し火傷した。	52	331	11	1～9
2017	9	16～ 17	工場内で配管のネジ切り作業を終えたので、配管を抜く為に左側にスライドさせようとしたところ、配管に油が残っていた為、手が滑ってしまい右手がきりこの残っている箇所にあたり中指、第2関節の下を切って負傷した。	58	521	8	1～9
2017	9	16～ 17	切断機フレーム供給口から切断品を右手で取っている最中に、次の切断寸法にバックゲージを作動させてしまい、右手人差し指を切断機テーブル背当て部とバックゲージで挟んでしまった。	26	159	7	50～ 99
2017	10	15～ 16	ヘルメット、安全靴、革手袋を装着の上、ロッドスクレッパーを試運転中、異音がするためその原因を探ろうとし、動いているスクレッパー（糞尿処理機）のパドルの下にバールを差し込んだところ、尿構壁とバールの間に左手が挟まり、そのまま巻き込まれ左手小指第一関節が裂傷、骨折した。	46	169	7	1～9

2017	10	10～11	工場内で素材をNC旋盤にセットする為、素材を旋盤の爪に仮固定し、爪にかけた状態で素材を回して適切な位置に爪が当たるように回していた。その際ふとした拍子に素材が爪から外れ、落とした素材と旋盤の間に中指を挟んだ。（素材は径30cm、厚み8cm、重さ30kg程度の鋼材。）	19	521	7	10～29
2017	10	8～9	縦型マシニング操作時、工具長測定後にベースマスターを取ろうとしたが、誤ってアンクランプのボタンを押してしまい、左手甲の上に工具が落下しけがをした。	42	159	7	1～9
2017	10	8～9	工場出荷センター前にて製品出荷準備中、フォークリフトのフォーク幅を調整していたところに、駐車していた4tトラックがバックを開始し、フォークリフトとトラック後部に挟まれながら、トラック後方に押された。	51	221	7	30～49
2017	10	8～9	当日工場内に於いて、板材（長さ10cm、巾4cm）をグラインダーで研磨作業中、板材を支えていた右手を、板材とグラインダーの台の間に挟まれ、その際、右手第2指先端を負傷。	57	153	7	10～29
2017	10	16～17	機械組立作業中、回転物に右手薬指を挟まれ、右手薬指第一関節より欠損した。	65	121	7	10～29
2017	10	19～20	本社工場棟の樹脂成型ラインで、中空枠押出機が粉碎した原料の吸込みが弱くなり原料を吸わなくなってきたため、機械上部にあるタンクに直接原料を入れようと踏み台に登り、重さが約25kgある原料の袋をタンクの脇に置こうとしたところ、バランスを崩し落下して右足踵から着地。その際に右足を捻り踵を骨折し手術・入院となった。	58	371	1	30～49
2017	10	15～16	ヘルメット、安全靴、革手袋を被着の上、ロッドスクレッパーを試運転中、異音がするため、その原因を探ろうとし、動いているスクレッパー（糞尿処理機）のパドルの下にバールを差し込んだところ、尿溝壁とバールの間に左手が挟まりそのまま巻き込まれ、左手小指第一関節部が裂傷、骨折した。	46	169	7	50～99

2017	10	15～ 16	工場内にて、加工物を2個台車に乗せようとしていた時、1個を台車に乗せ、もう1個も台車に乗せようとした時手元が狂い加工物を落としてしまい先に台車に乗せた加工物も腕が触れてしまった為落とした加工物の上に落下した。落ちた際受け止め様とした為加工物と床に左手の人差指、中指、薬指を挟み骨折した。	25	521	4	50～ 99
2017	10	13～ 14	社内の旋盤にて、ローラーの軸をペーパー加工中、誤って巻き込まれ右指、左手首を負傷した。	34	151	7	10～ 29
2017	10	9～ 10	当社機械加工場、旋盤にて部品加工中、旋盤にシャフトをセットし、サンドペーパーで磨く時にサンドペーパーの長さが20cm（不安全段取）ほどあったため、ペーパーが巻き込まれ、同時に手も一緒に巻き込まれてしまい、左示指、左手・前腕部を負傷した。	47	151	7	10～ 29
2017	10	14～ 15	電動ドリルへホルソーを取り付け金属板の穴あけ作業を行っていた際、ドリルを引くタイミングが遅れ、金属板にホルソーが引っかかりドリル本体が急に回転したために負傷した。	57	159	6	1～9
2017	10	16～ 17	製作所組立二課の組立工場（I工場）にある荷物用のエレベーター内（2F）において、初めて使用する電動台車の操作を社員の指導を受けながら実際に操作していた。2Fエレベーター内から電動台車を出す際、電動台車操作盤にある前進・後退のトグルスイッチのレバーを後退に切り替えて後退させたが、電動台車の前方がエレベーター内の壁に干渉しそうになり、一旦前進させて干渉を回避させようとした。しかし、この時、実際には前進にスイッチが切り替わっておらず、またスイッチの状態確認も怠っていたため、スイッチが後退のままの状態でも電動台車のハンドルを持ちスロットルレバーを握ったところ、前進せず更に後退し、電動台車のステップとエレベーターの壁に左足首を挟まれた。	45	229	7	1000 ～ 9999
2017	10	6～7	製造ライン裏の素材供給場所へ向かって歩いていた。素材の残りが少ないことに気づき、素材置場へ向かうために、反時計回りに方向転換した時に、足を滑らせ右大腿部外側から床に落ちた。（金	47	417	2	300 ～

			属部分の切削加工現場であるため、オイルミストが床に蓄積することにより滑りやすい環境である)				499
2017	10	8～9	工場内機械組立エリアで、機械部品の確認をするために、保管場所に入ろうとした。近接エリアの機械を避けるために、屈みながら体を反転した時、バランスを崩し床に転倒、下肢を強打した。痛みが強く自身では足が全く動かさないため、救急車を依頼した。	67	417	2	1～9
2017	10	15～16	事業所内の工場において、階段を下りる際に足を踏み外してバランスを崩し前のめりに着地して左足甲の部分を捻った。	56	413	19	1～9
2017	10	14～15	長尺旋盤でステンレスロールφ130×3mの軸受け部を、バイトで切削し、より精密に仕上げ加工を行うため、軸受け部の軸ハメアイ公差に研磨代0.02をつけて加工後、布ヤスリペーパーを使い工作物を回転させて指で掴み、公差内にする作業をしていた時にペーパーが工作物にくいつき、手袋をしていた指もろとも巻きこまれてしまった。	63	151	7	10～29
2017	10	13～14	軸受部品を作る機械（単能機）でバイト（切削刃）を交換する際、本来は停止ボタンを押してから作業する決まりになっていたのだが、それを怠り作業していた。加工した品物が通過センサーを通ると、また機械が動くのだが、停止ボタンを押さずに作業したため、センサーに肘が当たり機械が動き指を挟まれた。	59	151	7	30～49
2017	10	9～10	工場内で片付けをしていた際、補機関と発電機をつなぐフライホイールが左足の甲の上に倒れたため、複雑骨折した。	36	379	6	1～9
2017	10	15～16	工場内で荷物を両手で抱え運ぶ作業中、段差に足を取られ左足首を捻って転倒し、負傷した。	61	921	2	1～9
2017	10	15～16	木型場で昇降盤で作業中、アルミ材（10m／m）を切断中に切粉を取ろうとして右手の人差し指、薬指、小指がノコに当たった。	70	159	8	10～29
2017	10	11～12	製造工場にて材料のワイヤーをコイル状に巻いたもの（500kg）を移動中に、荷が段差により倒れて足を挟んだ。	27	521	7	30～49

2017	10	19～ 20	事業場内において、切断後の金網の曲がりを取るために3本ローラー機へ入れる作業中、皮手袋が金網に引っ掛かり右手指がローラー部に挟まれて、人差し指及び中指に挫創を負ったもの。	23	163	7	10～ 29
2017	10	9～ 10	工場において、ノコ盤にて製品を切断中、誤って左手の五指を切断した。	45	159	8	10～ 29
2017	10	10～ 11	自社工場で玉掛けの補助業務としてクレーンで吊ってあったエルボが揺れないよう手で支えていたところ、誤ってエルボの先端部分に右手親指を挟んでしまい受傷した。	32	211	7	10～ 29
2017	10	8～9	当社工場内でターニングローラー上に載せている船舶用ボイラ胴板（内径2,000mm、奥行き1,200mm、厚さ16mm、重量950kg）の開先をグラインダーで研磨した後、胴板を天井クレーンで移動させるために取り付ける金具を探していたところ、胴板がバランスを崩して落下した。被災者は胴板が背中上部に当たった衝撃で転倒し、近くにあった他の製品（船舶用ボイラ下管寄せ）で胸部を強打して負傷した。	41	521	5	30～ 49
2017	10	17～ 18	当社工場内において、2階事務所から1階工場内への階段を下りていた時、誤って足を踏み外し、下の段に思い切り足を踏ん張ったところ、左膝に負担がかかり負傷した。	48	413	3	30～ 49
2017	10	9～ 10	ダイヤモンド工具（大物電着製品）の電着槽洗い作業時、床に置いた水の入ったタライ（12.5kg）を持ち上げた時に腰に痛みが発生した。	49	921	19	100～ 299
2017	10	14～ 15	当社工場内でノコ盤を使用中ノコの歯が切れたので交換しようとして足が捻ったようになってしまい右足膝を負傷する。	65	921	19	30～ 49
2017	10	9～ 10	今治ハッチカバーのエンド材の板継ぎ溶接作業に従事していた。板継ぎ溶接したエンド材約368kg（880×1.6M×t20と880×1.8MXt12）の裏側に敷いている裏当材と、その押さえつけ用のフラとバーを同時に引き抜くため、右手にボールを持ってこじ開け、左手に鉄を持ってその隙間に差し込んでいたとき、ボールが	66	521	7	10～ 29

			滑ってエンド材が落ち、鉄と定盤間で左手の人差し指を挟まれ負傷した。				
2017	11	15～ 16	当社工場内において、製品の入った網パレット（600mm×900mm×400mm）（50kg）を二人で押して移動していたところ、別の網パレットに立て掛けていた板パレット（120cm×120cm）（38kg）が倒れて来た。その際、板パレットに左足が挟まり、小指の付け根を骨折してしまった。	43	391	7	50～ 99
2017	11	11～ 12	当社第2工場内で、研磨機を使用し、棒状のステンレス製品（長さ600mm、重さ600g）の仕上げ作業をしている時、磨いていた製品を作業しやすいように持ちかえようとしたところ、左手に着けていた手袋が機械に絡まり、右手小指の第二関節から上を切断した。	30	153	7	10～ 29
2017	11	11～ 12	当社派遣先工場内にて被災者と当社派遣労働者との間で仕事上の指摘（作業対応に関して動作が遅い等）をされた事で口論となった。その際に被災者は複数回、平手や拳で殴られたりしたため顔面等を負傷した。	45	417	19	1～9
2017	11	11～ 12	工場内でプレス作業をしている時、通常1人で行う作業（誤って手を挟んでしまうのを防ぐ為）であったが、2人で作業していたので他の社員が注意したが止めずに続けていて、1人が品物をセットしてもう1人がプレス機を動かすボタンを押していた為、品物をセットしている最中に誤ってボタンを押してしまい、品物をセットしていた被災者の左中指の一部を切断してしまった。	60	221	1	50～ 99
2017	11	11～ 12	スライダーを使い、天井面の感知器電圧点検作業中、スライダーの足元が滑り、バランスを崩し約3mの高さから落下し、右半身を負傷した。	64	419	3	1～9
2017	11	17～ 18	追越車線を時速90km前後で車両走行中、対向車線から突如タイヤが転がりながら迫って来た。タイヤは車両のフロント右側に衝突し、ガードレールに対し右に向かう形で緊急停車した。車両右側フロントは大破し、事故後、背中と腰に違和感を覚えた。	26	231	17	10～ 29

2017	11	11～ 12	木製パレットに20個（10個×2）積まれたCチャンネル（200×90×8×33cm）1つあたり重量10kgをクレーンで吊り上げていた。地切りを行ったが50cm吊り上げたところ、フックからワイヤーが外れ積んでいたCチャンネルが崩れ、最上段の1個が右足の甲に落ち負傷した。	27	372	4	30～ 49
2017	11	9～ 10	組立第一工場にて、MB46Vラムを前日に立てておいたが、転倒防止のジャッキを取り付けることを忘れていた。事故当日、ジャッキを確認しないまま作業を開始し、タップ部清掃作業の際、ラムのバランスが崩れ、咄嗟に手を出してしまい、近くにあった鉄製の測定用台と右手を挟まれてしまった。	24	379	7	50～ 99
2017	11	9～ 10	ショットブラストマシンを点検、修理している際、空運転中に、マシン内のベルトとプーリーの間に左手人差し指が入ってしまい左手人差し指内側を負傷したものである。	28	391	7	1～9
2017	11	11～ 12	受入部品保管場所から部品（1m×50cm×40cm）を台車に載せて塗装ブースに2人で運搬中、台車と部品の間に誤って右手人差し指を挟んでしまい切れた。	27	379	7	10～ 29
2017	11	11～ 12	エンジン組立職場へ部品を供給するための自動運搬車にハウジングと呼ばれる部品（20kg程度・円盤状）を積み込む際に、部品の向きを間違えたため向きを変えるために部品を回転させた時に、両手が交差する姿勢になり部品を保持できなくなり手から落として被災した。	34	611	4	500 ～ 999
2017	11	15～ 16	当社工場内にて手動ハンドリフト（クレーン）を移動させる際に、屋外との段差をリフトが転倒し、リフトと地面の間に挟まれ股関節を負傷した。	65	214	5	1～9
2017	11	11～	当該職場配属後1週間程度経過した頃から左腕肘裏に腫れが見られ始め、その後右顔面にも腫れが出てきた。金属部品を機械に投入した後、加工された部品を回収し箱詰する作業を軍手の上にビニー	25	512	12	1000 ～

		12	ル手袋をはめた手で行っており、部品に付着している機械油（白灯油が主成分）が直接手に触れる状態ではないが、油の付いた手袋をはめたまま皮膚に触れたことにより発症した。				9999
2017	11	17～ 18	被災者は工場で、テスト中の装置（電子線滅菌機）を分速約100mmで動かしながら、布にアルコールを染み込ませたもので拭き取り清掃を行っていた。右手をスプロケットのリブと軸支持横梁の間（約30mm）の間に右手（3～5指）を挟まれ挫創した。	31	169	7	100 ～ 299
2017	11	10～ 11	本社正門付近テントハウス内で、試作品の油回収器の水圧テスト時に、水が入ったペール缶（20?）を目線の高さまで持ち上げて回収器の中へ注入している最中に、「パキッ」という音と痛みが右手首から出て負傷した。	26	611	19	50～ 99
2017	11	10～ 11	シャーリングで鉄板の切断加工中、誤って左手を刃物に近づけてしまい左手中指を刃物にて負傷した。	69	156	7	1～9
2017	11	9～ 10	バフ（円型の布が回っているところにステンレスの商品を当てて磨く）中に指を巻き込まれ、右手人差し指第2関節部分を切った。	68	159	7	10～ 29
2017	11	12～ 13	ブロック平面研削盤DR200GS6201の排水口が、研削スラッジで詰まり、機械からクーラント液が漏れていた。休憩時間中に通行していた社員より連絡を受け、本人が調整用窓を開け、右手を入れて清掃を行った。その時に機械が急に動き出し、右手がテーブルに挟まれ負傷した。	54	169	7	500 ～ 999
2017	11	18～ 19	工場B棟で天板（960kg）を定盤に移動させる為に、天板の片側をスリングで吊り、パレットと天板の間に木を入れようと左手でリモコンを操作をしていると、天板がスリングから外れ天板とパレットの間に右手薬指を挟み裂傷を負った。	38	211	7	10～ 29
2017	11	15～ 16	工場内において、鉄製構造物（AとB）を組立作業中ボルトで結合する箇所（C）を右手で触って確認していたところ、構造物を支えていたりん木に足が当たり構造物（B）が傾いて右手人差し指先を負傷したものである。ボルト穴に指を突っ込んだ状態で傾いた	41	521	8	50～ 99

			為、指先の爪と肉が削げるように切断した。骨に異常なし。				
2017	11	17～18	当社工場入口で3tトラックに径150φ長さ1m30cm位の鉄の丸棒10本を積んでいてドアを開けて降ろす途中、荷造りしていたベルトを弛めた時に地面に転げ落ちて、右足の先に落ち安全靴の先がつぶれて指を負傷した。	47	221	5	1～9
2017	11	11～12	会社工場内においてクレーンでパイプ（350A×3m、300kg）を移動中に、置いてあった台車を動かそうとし台車とパイプに右手小指を挟まれ負傷した。	58	211	6	1～9
2017	11	17～18	工場でボール盤でアングル（6mm×長さ229mm）に穴開け加工中、台座に固定してφ20.3のドリルで穴開け加工をしていて、ドリルが強く食い込んでアングルと一緒に回転してバイスが手に跳ね返って、左手小指に当たり負傷する。	33	521	6	10～29
2017	11	10～11	造船所にて、艀装工事中、陸上より船上に部品を手を持って上がろうとしていた。タラップから踏み台に降りる際、足を踏み外して転倒し左足首をくじいた。	20	371	2	30～49
2017	12	12～13	第2工場の溶接作業場において、鉄板（400mm×1400mm×12mm、重さ35kg）のゆがみをバーナーで熱しハンマーで叩いて矯正していた際、落下防止の為のクレーンを使用しなかった為、鉄板が作業台から滑り落ち、左足甲に当たり負傷した事故である。	49	521	4	10～29
2017	12	11～12	加工職場にて、ボール盤を使用したタップ加工中に、バイスに挟んだ母材を入れ替える際、回転を停止させないまま行い、誤って右手小指が回転中のタップにまき込まれてしまった。	73	152	7	—
2017	12	9～10	走行中（軽トラックで業者へ納品後）、駐車場へ右折するとき前方をよく確認せずに対向車の直進車と衝突し、軽トラック左前方と相手方のムーブ前方が損傷し、左わき腹を打撲し、病院に救急車で搬送された。	71	231	17	10～29
			当社工場内に於いて、仮付け治具（当社専用品の為型式品番無し、				

2017	12	9~10	高さ床上から台上800mm、幅2100mm、奥行500mm）からクレーンで製品（長さ1m60cm、重さ65kg）を取り出す際に、製品が斜めに傾いたので確認してみると、ピンが固定されていることに気づき、クレーンで元の位置に戻そうとしたところ、途中で製品が治具に引っ掛かり、はまらなかった為、手で製品の頭を持って振ったところ、製品は治具にはまったが、その際に治具と製品との間に右手の薬指（手袋は装着していた）が挟まり受傷した。	38	521	7	30～ 49
2017	12	14~15	加工課ベンダー工程にて、約700mm角の大きさの板金を4辺曲げる際に、2辺の曲げ終了後に、持ちかえた際にL型の鋭利な部分が手袋と作業服の隙間に当たってしまい、動脈1本と腱2本を切断してしまった。	39	521	8	100 ～ 299
2017	12	16~17	工場内において、フライス盤を使用し部品の側面を削っていた際、切削工具を止めずに手前にあったゴミ（切粉）を取ろうとした瞬間、誤って回転工具と加工部品の上に右手示指が巻き込まれ負傷した。	23	152	7	10～ 29
2017	12	11~12	当社5号工場において、タレットパンチプレス機で貯湯タンク外板の製造作業中、スチール板の端材を樹脂製コンテナ（600mm×500mm×350mm、重量約50kg）に入れ、鉄製のバツカン（1100mm×1100mm×500mm）に中身に移すため、被災者と2人で樹脂製コンテナを持った。鉄製のバツカンの縁に樹脂製コンテナを置き、樹脂製コンテナが滑らないように樹脂製コンテナ底部に左手を添えて傾けたとき、誤って左拇指を樹脂製コンテナと鉄製バツカンの間に挟み、骨折負傷した。	41	611	7	50～ 99
2017	12	10~11	本社にて、部品にハンドラップを使用して手首を捻りながら梱包する作業を行っていた（部品の重量は5kg～15kgと様々）。しばらくして両腕に痛みが出始め、その後、痛みが酷くなり病院に行ったところ、頸肩腕症候群と診断された。3年前に首の神経を痛めており、今回手首を捻りながら作業したことで首にも負担がかかり、痺	41	611	19	300 ～ 499

			れが出たのではないかと診断された。				
2017	12	13~14	変成炉（一酸化炭素発生装置）の上部にてメンテナンス（触媒交換）中、バルブが完全に閉まりきっていなかったため、一酸化炭素を吸い込み中毒になった。なお、変成炉は電源・ガスともに完全に停止していた。	52	321	12	30～ 49
2017	12	8~9	2階工場にて線材加工中、ネジ切機械のローラーに手指が巻き込まれ、右中指第一関節辺りから切断・粉碎骨折し、右人差し指の腱断裂及び骨折を負った。	56	159	7	10～ 29
2017	12	15~16	構内立施盤の前にて、リング形状の鉄の素材を寝かすため、素材を立てた状態で一旦仮置きした。周囲のスペースを確保するために素材と反対側に向った直後、立て置きした素材がバランスの悪い形状であり、被災者の右側より素材が突然倒れ、被災者の右膝付近に当たり、後向きで尻もちついて倒れたあと、素材に右踵を挟まれて骨折した。	52	521	5	1～9
2017	12	10~11	工場内でレベラー（機械）の部品（カール鉄製、W30×H22×L33、重さ40kg）にベアリングを入れる作業中、90度部品を回したときに受け台が外れ、部品が傾き、角が左手小指先に落ちて欠損した。	40	612	7	30～ 49
2017	12	13~14	部品加工中、加工が終わるまでに寸法計測をしようとしていたが、内線電話が掛かってきて、それに対応した。その後、電話対応したことにより加工が終わるまでの時間が短くなったので、急いで寸法計測を行おうと、機上に置いていた計測器具を取ろうとしたとき、回転中の工具に衣服のボタンが引っ掛かり巻き込まれた。	68	169	7	10～ 29
2017	12	9~10	年末大掃除中に、生産管理室で予想以上に埃が舞ったため、皆にマスクを配ろうと思い慌てて取りに行こうとし、床に撒かれてた洗剤に滑って転び、左手を強打して骨折した。	51	418	2	30～ 49
			製缶工場で、作業座（約400kg）の溶接作業時に、一面の溶接が終わって二面目の溶接をするため、玉掛けをして2.8tホイストクレー				

2017	12	11~12	ンにて90度回転する際、隣の完成品の近くでペンダントスイッチでインチング操作をしていたところ、正面側（南北）のクレーンと作業座の芯は確認したが、東西側の芯のずれに気づかず、作業座が被災者側に横動きをしたとき、完成品の近くにいたため左足を負傷した。	37	211	6	1~9
2017	12	15~16	事業所内で、4段積み青ラックを場内から屋外へ搬出する作業中、リフトで持ち上げられる位置まで青ラックをコロ台車で移動したところ、場内と屋外の境目の段差にコロ台車が脱輪し、ラックが横転した。作業者は、そのままラックの下敷きとなり、骨盤と左大腿骨を負傷した。	51	362	5	100 ~ 299

出典： https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html